

2 派遣スタッフ調査（アンケート調査）

1. 実施概要

（1）目的

販売職派遣あるいは営業職派遣の派遣スタッフの雇用管理の現状と課題を把握することを目的に、派遣の仕事の内容や特徴、派遣会社や派遣先企業の雇用管理の状況、仕事に対する意識や満足度等を尋ねた。

（2）実施時期

- ・ 2009年12月14日～2月10日

（3）発送先

	協力 企業数	配布票 数
営業職派遣・販売職派遣を手がけると思われる人材派遣会社 (派遣会社を通じてスタッフに配布)	9社	850票
社団法人日本人材派遣協会 会員企業 (委員企業2社を含む)	3社	300票
日本サービス業人材派遣協会 会員企業 (委員企業1社を含む)	6社	550票

（4）回収結果

全体	回収数 275 有効回答 275 (有効回答率 32.4%)
社団法人日本人材派遣協会	回収数 53 有効回答 53 (有効回答率 17.7%)
日本サービス業人材派遣協会	回収数 217 有効回答 217 (有効回答率 39.5%)
所属不明	回収数 5 有効回答 - (有効回答率 -%)

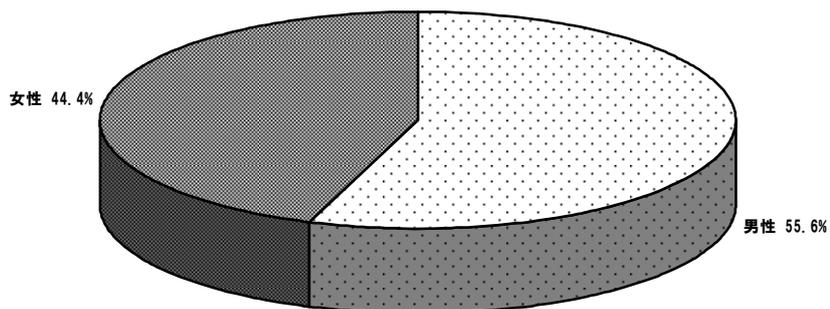
2. 単純集計

(1) 回答者の属性

①F1 性別

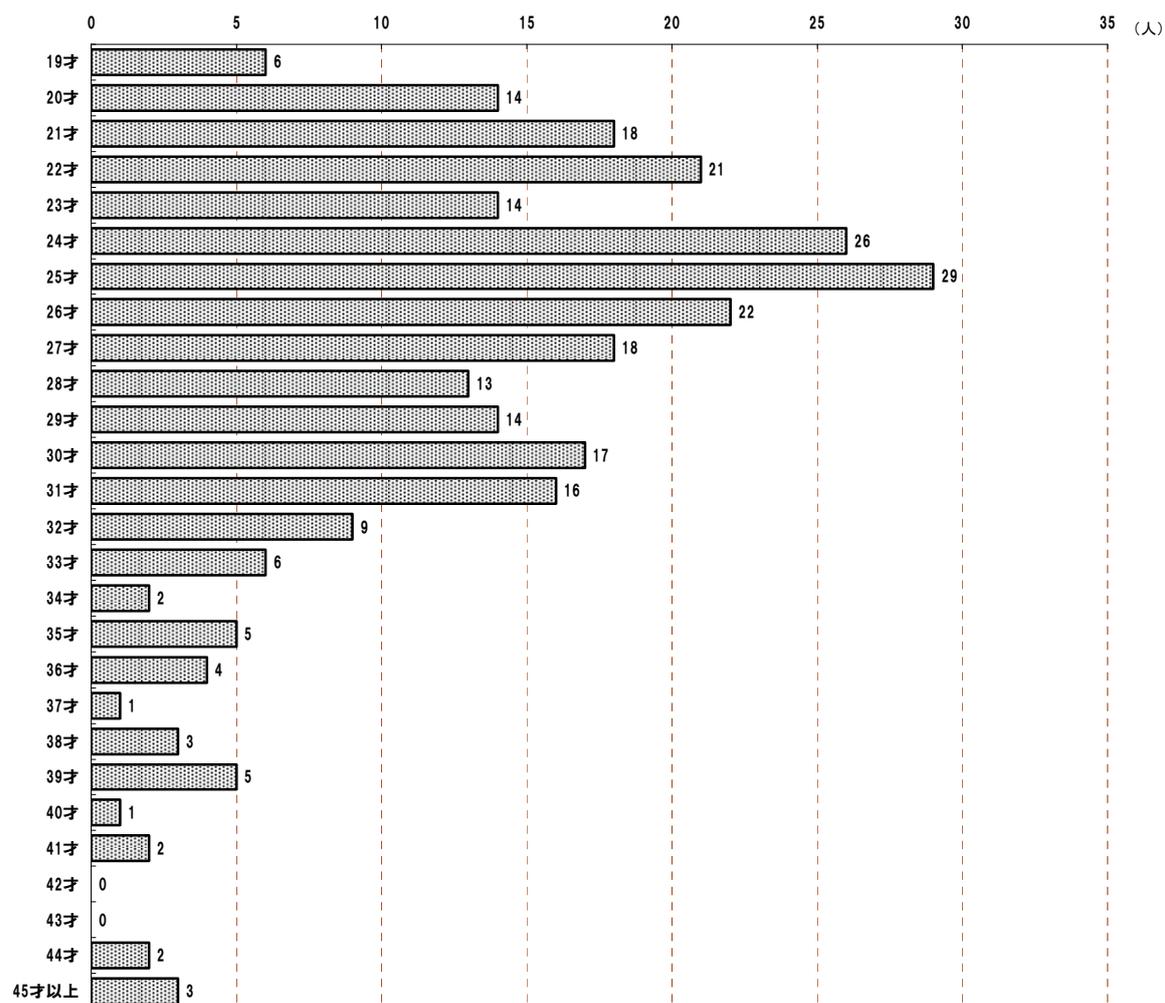
- ・ 男性（55.6%）が女性（44.4%）をやや上回っている。

(n=275)



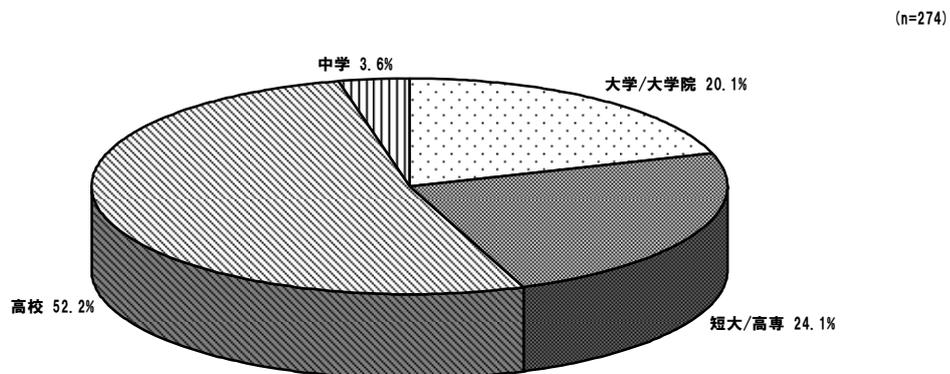
②F2 年齢

- ・ 年齢分布は、平均年齢 27.0 才、中央値 26 才となっている。



③F3 最終学歴

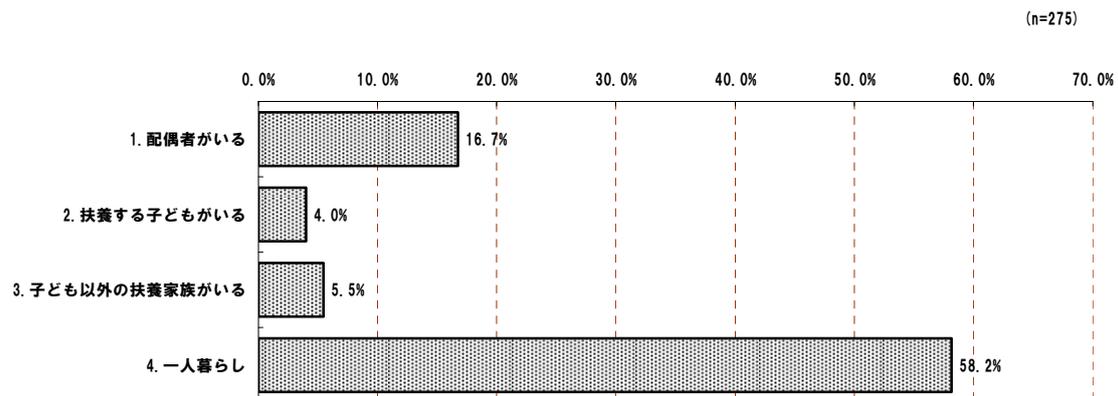
- ・ 「高校 (52.2%)」が最も多く、「短大/高専 (24.1%)」、「大学/大学院 (20.1%)」が次ぐ。



(注) 中退は卒業に含めている。

④F4 家族構成 (MA)

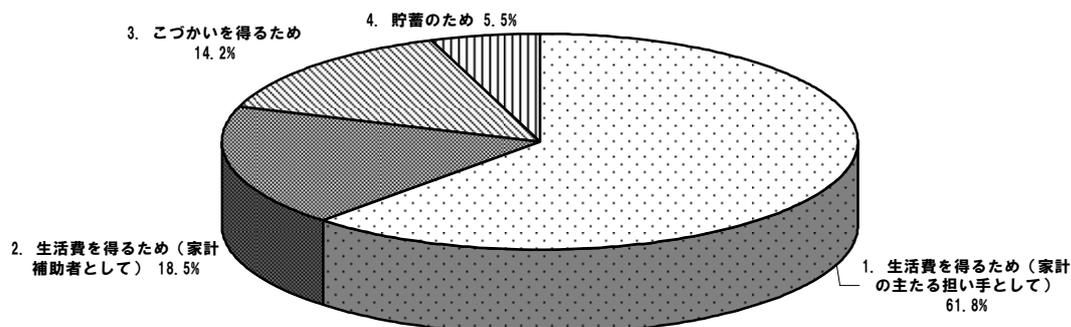
- ・ 「一人暮らし (58.2%)」が最も多く、次いで「配偶者がいる (16.7%)」となっている。



⑤F5 働く主な理由

- 「生活費を得るため（家計の主たる担い手として）（61.8%）」が最も多く、次いで「生活費を得るため（家計補助者として）（18.5%）」、「こづかいを得るため（14.2%）」となっている。

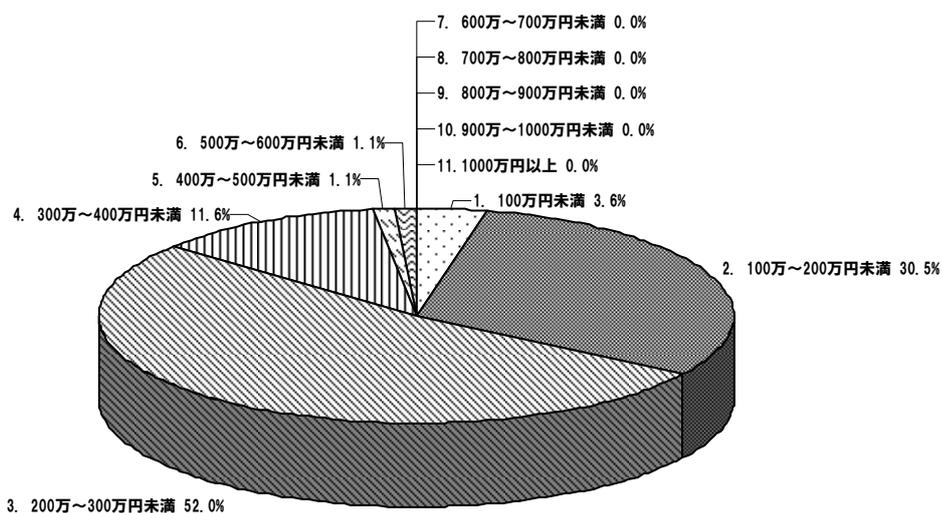
(n=275)



⑥F6 年収

- 年収（税込み）は「200万～300万円未満（52.0%）」とする者が最も多く、「100万～200万円未満（30.5%）」「300万～400万円未満（11.6%）」が次いでいる。
- 「100万円未満」「100万～200万円未満」「200万～300万円未満」を合わせると、86.2%が年収300万円未満ということになる。

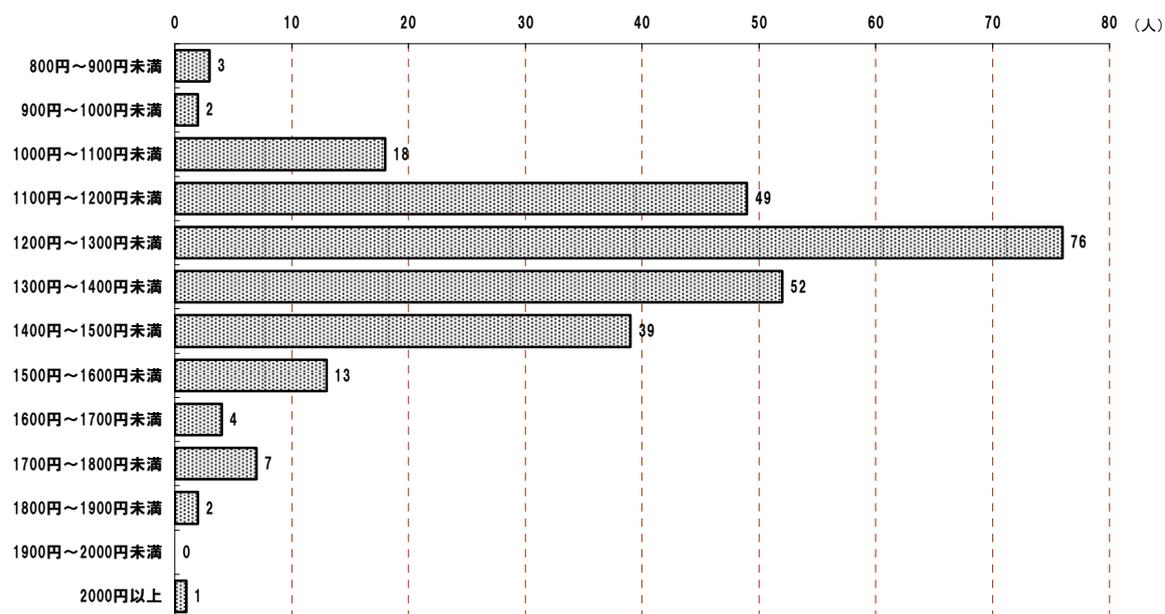
(n=275)



- こづかいを得るために働いている人もいるが、家計の主たる担い手として生活費を得るために働いている人が6割以上を占めている点が注目される。
- 生活費を得るために働いているとしながら、年収300万円未満の者が8割強を占めている。（ただし、扶養者のいない一人暮らしが6割。）

⑦F7 時給

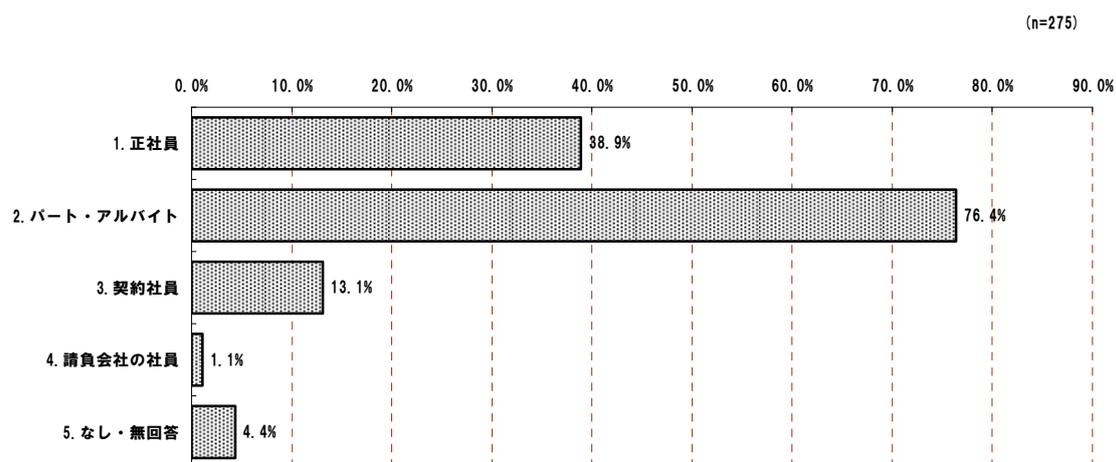
- ・ 時給分布は、平均 1269.1 円、中央値 1250 円となっている。



一仕事のキャリア

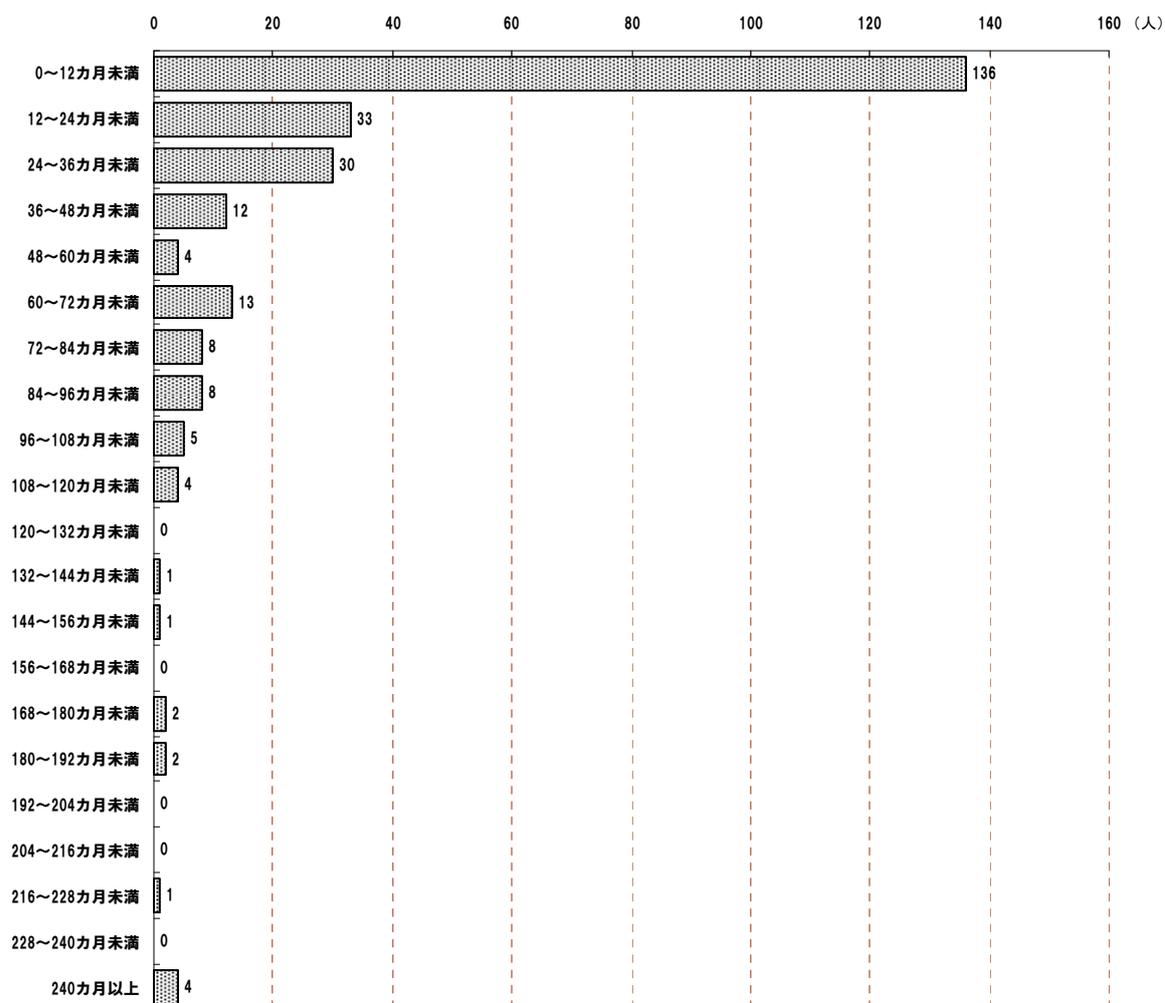
⑧F8 経験した雇用形態 (MA)

- ・ 学校を卒業 (退学) してから、初めて派遣スタッフとして働くまでの間の就業経験を尋ねたところ、「正社員」経験があるとする割合は 38.9%であった。最も多いのは「パート・アルバイト (76.4%)」となっている。



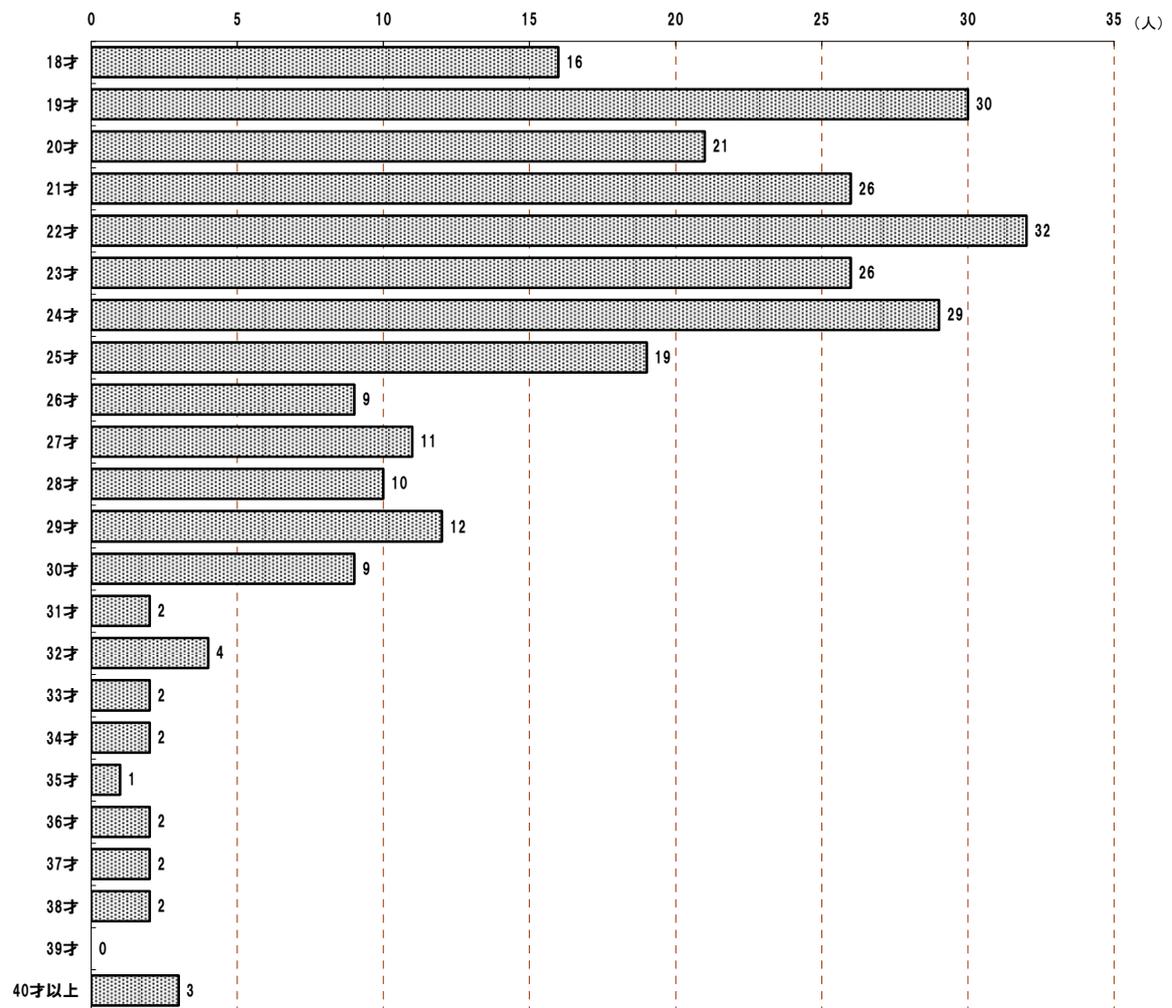
⑨F9 正社員として働いた期間

- 学校を卒業してから現在までに正社員として働いた期間（通算）を尋ねたところ、平均 27.6 カ月、中央値 7 カ月となっている。ただし頻度の最も多い期間は 0～12 カ月であり、うち 0 カ月（正社員としての就業経験のない者）が 118 人で 42.9%を占めている。



⑩F10 派遣開始年齢

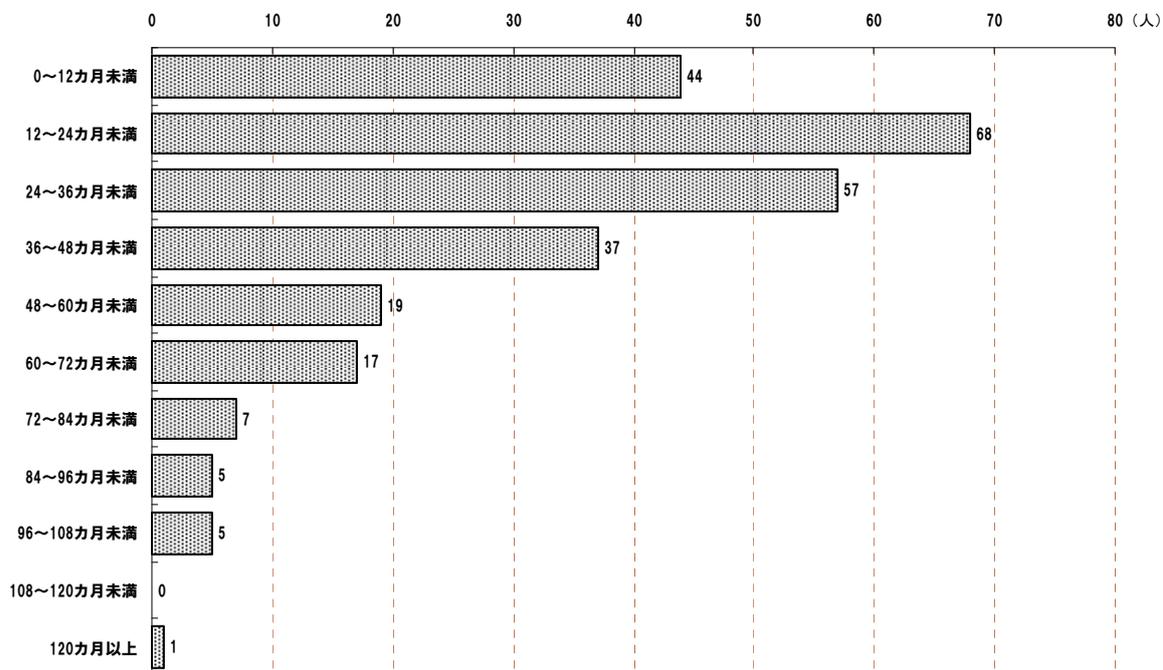
- ・ 派遣開始年齢の分布は、平均 23.9 才、中央値 23 才となっている。
- ・ ただし、10 代から派遣で働いている人も多い。



- ・ 学校卒業（退学）後、正社員経験がないと思われる者が5～6割近くを占めている（100%－経験あり 38.9%で算出。また、正社員就業期間（通算）がゼロの者は42.9%）。
- ・ 10代や20歳、21歳から派遣で働き始めている者も多く、学校卒業後、正社員就業を経験することなく、初職から派遣で働いている人も少なくないことがうかがえる。

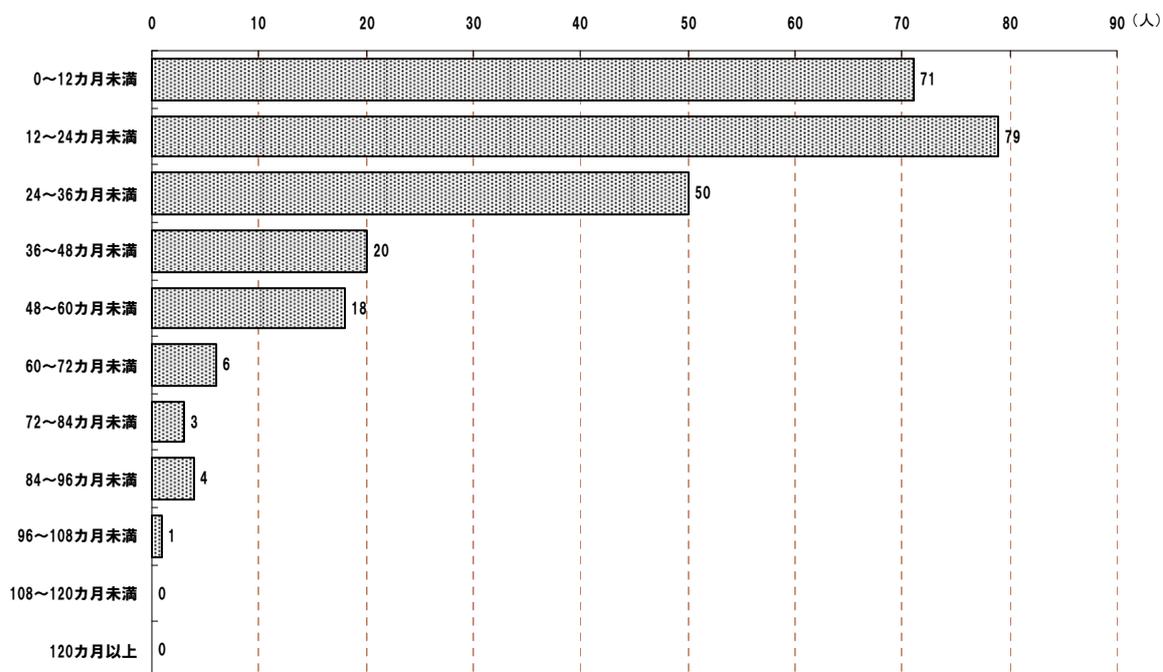
⑪F11-1 派遣スタッフとして働いた期間

- 派遣スタッフとして働いた期間の分布は、平均 30.1 カ月、中央値 24 カ月となっている。



⑫F11-2 現在の派遣会社で働いた期間

- 現在の派遣会社で働いた期間の分布は、平均 22.7 カ月、中央値 18 カ月となっている。



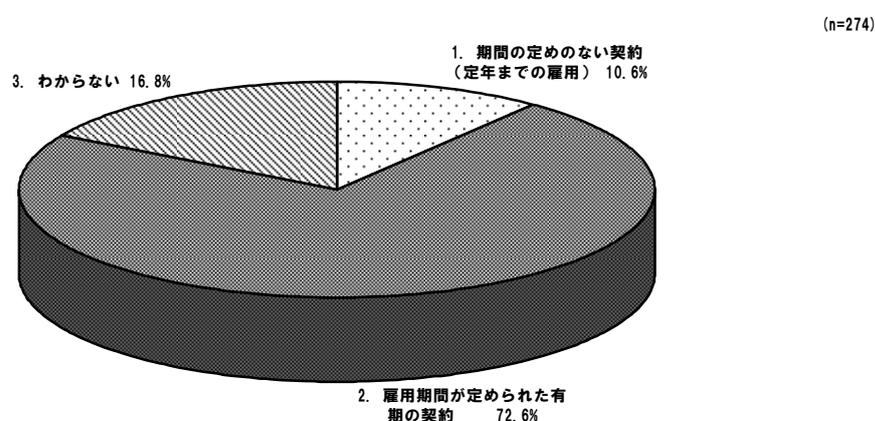
(2) 派遣の種類

－派遣会社について

①Q1 現在雇用契約を結んでいる派遣会社の名称
(省略)

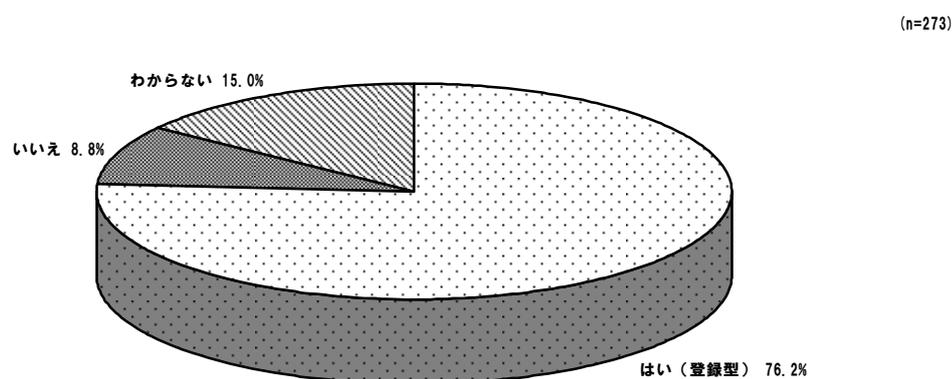
②Q2 派遣会社との契約期間

- 派遣会社との現在の雇用契約の期間について尋ねたところ、「雇用期間が定められた有期の契約 (72.6%)」が最も多く、次いで「わからない (16.8%)」となっている。「期間の定めのない契約 (定年までの雇用)」は 10.6%にとどまっている。



③Q3 登録型派遣か

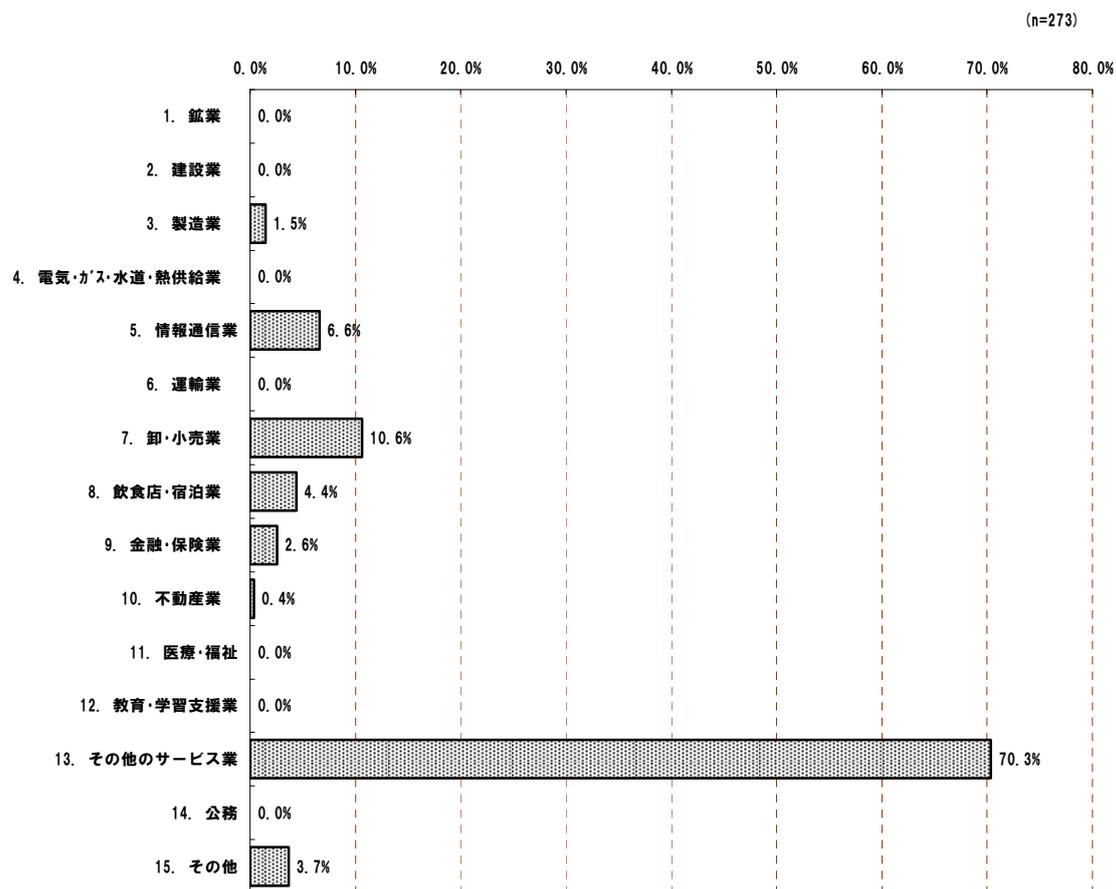
- 現在の派遣会社との関係について、「派遣会社に登録し、派遣先が決まった際に派遣会社と雇用契約を結ぶ形態」(登録型派遣)であるかを尋ねたところ、登録型とする回答が 76.2%を占めている。一方、「わからない」にも 15.0%の回答がある。



－現在の派遣先について

④Q4 派遣先の業種

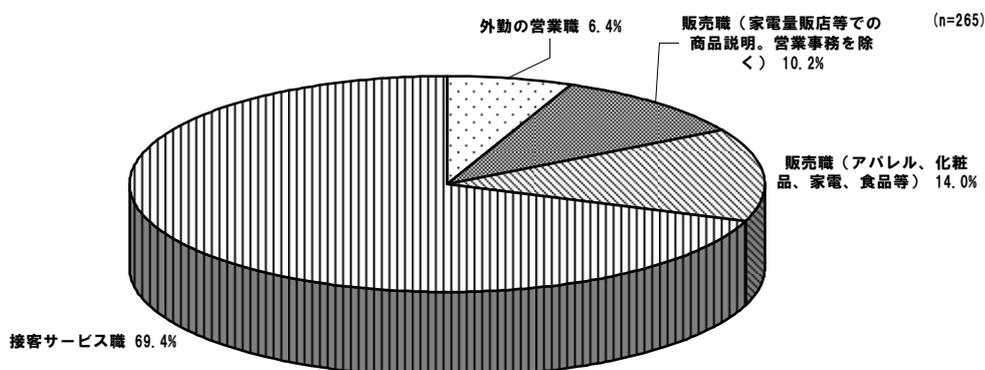
- 現在の派遣先※の業種を尋ねたところ、「その他のサービス業（70.3%）」が最も多く、次いで「卸・小売業（10.6%）」となっている。



※ 就業場所ではなく、派遣先の業種について尋ねている。

⑤Q5 派遣業務の種類

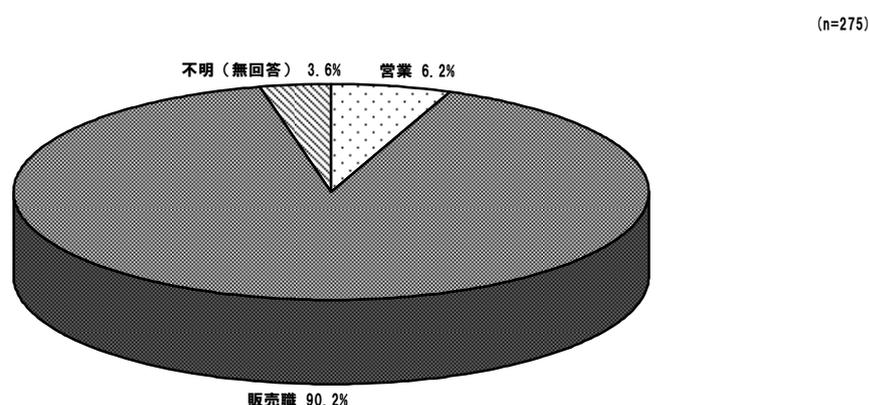
- 現在の派遣先での業務に最も近いものを選んでもらったところ、「接客サービス職（69.4%）」が大半を占めており※、次いで「販売職（アパレル、化粧品、家電、食品等）（14.0%）」となっている。



※ 回答企業が、「日本サービス業人材派遣協会」会員企業経由で配付したスタッフの回答が多いことを反映していると思われる。

⑥営業・販売区分

- Q5の回答を「営業職」「販売職」に大別すると、販売職が90.2%と全体の約9割を占めている。



注) アンケートでの区分

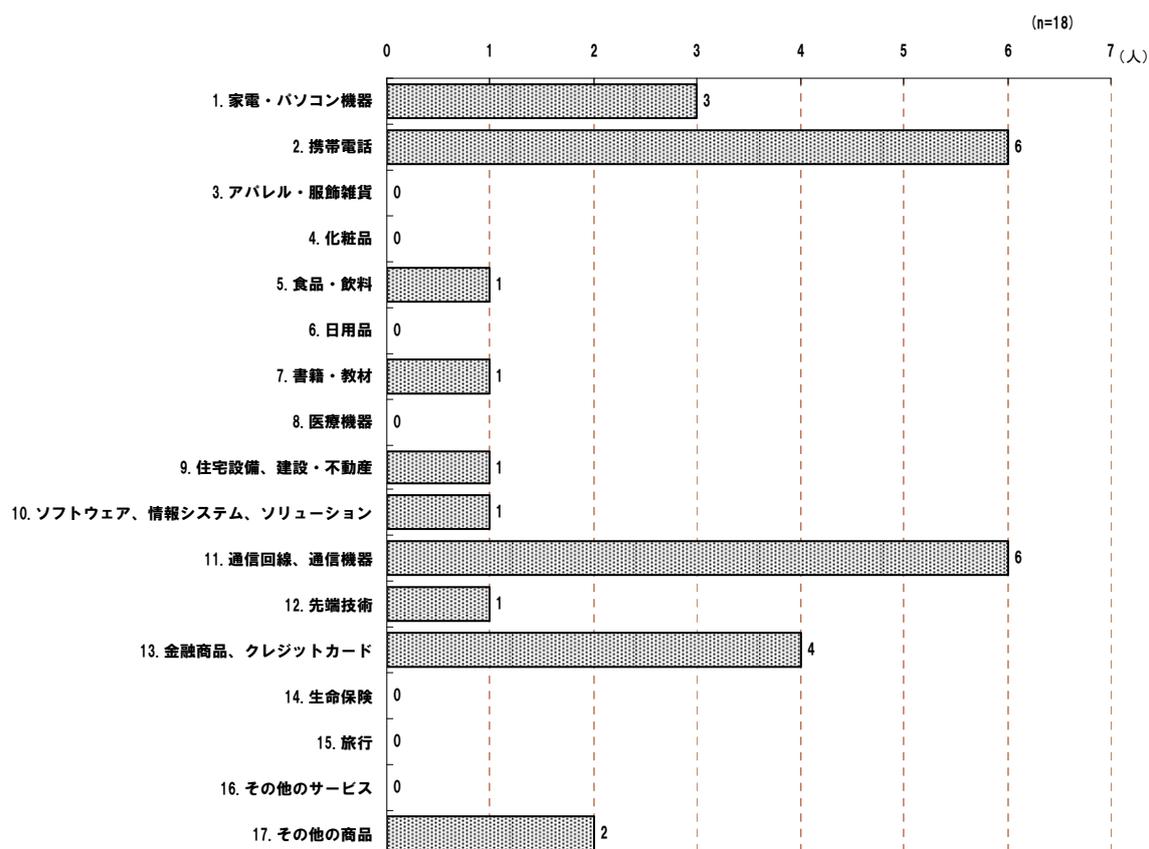
Q5 「外勤の営業職」（新規開拓、ラウンダー、ルートセールス、フィールドー）	} → 「販売職」
「販売職」（家電量販店等での商品説明。営業事務を除く）	
「販売職」（アパレル、化粧品、家電、食品等）	
「接客サービス職」（飲食店、パチンコ店等のサービス業での接客）	

一 営業職派遣

(Q6～Q10は、営業職の派遣スタッフに聞いている。)

⑦Q6 営業職派遣の商材 (MA)

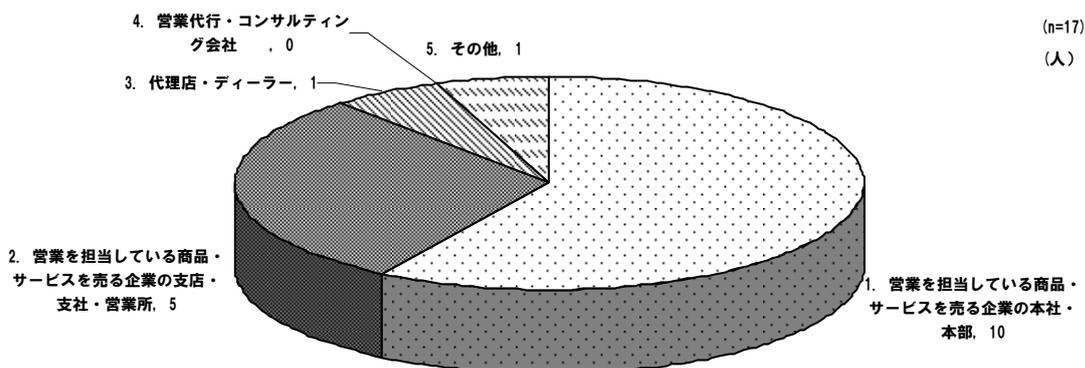
- ・ 営業職派遣で、現在主に扱っている商品・サービスを尋ねたところ、「携帯電話 (6人)」と「通信回線・通信機器 (6人)」が最も多く、次いで、「金融商品、クレジットカード (4人)」、「家電・パソコン機器 (3人)」となっている。



(注) 営業職派遣はサンプル数が少ないため、グラフを割合 (%) でなく人数 (人) で示している。以下同様。

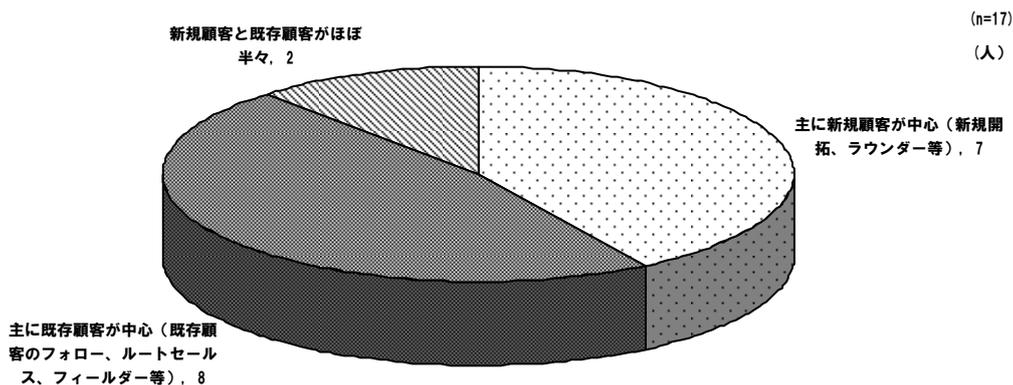
⑧Q7 営業職派遣の派遣先

- 現在の営業職派遣の派遣先は、主にどのような組織か尋ねたところ、「営業を担当している商品・サービスを売る企業の本社・本部」が10人で58.8%を占め、次いで「営業を担当している商品・サービスを売る企業の支店・支社・営業所（5人）」となっている。



⑨Q8 営業職派遣の内容

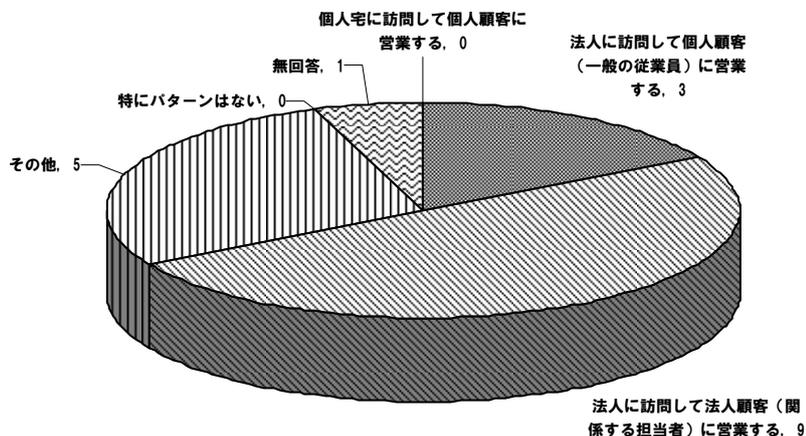
- 営業の内容について尋ねたところ、「主に既存顧客が中心（既存顧客のフォロー、ルートセールス、フィールド等）（8人）」が47.1%を占めて最も多く、次いで「主に新規顧客が中心（新規開拓、ラウンダー等）（7人）」、「新規顧客と既存顧客がほぼ半々（2人）」となっている。



⑩Q9 営業職派遣の訪問先

- ・ 主な対象顧客・訪問先を尋ねたところ、「法人に訪問して法人顧客（関係する担当者）に営業する」が 9 人（52.9%）で全体の 5 割以上を占めている。

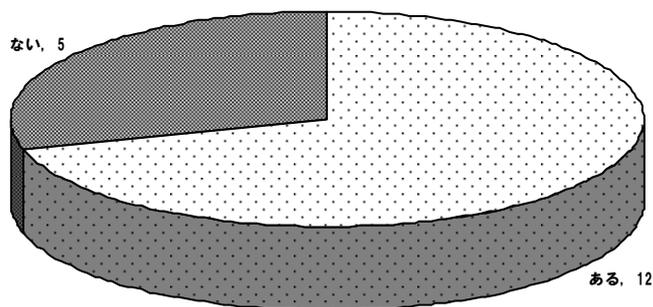
(n=17)
(人)



⑪Q10 他の商材の営業経験

- ・ 現在主に担当している商品・サービス（Q6 で回答したもの）とは異なる商品・サービスの営業を担当した経験があるか（他の会社や派遣会社で経験したものでも可）尋ねたところ、「ある（70.6%）」が「ない（29.4%）」を大きく上回っている。

(n=17)
(人)

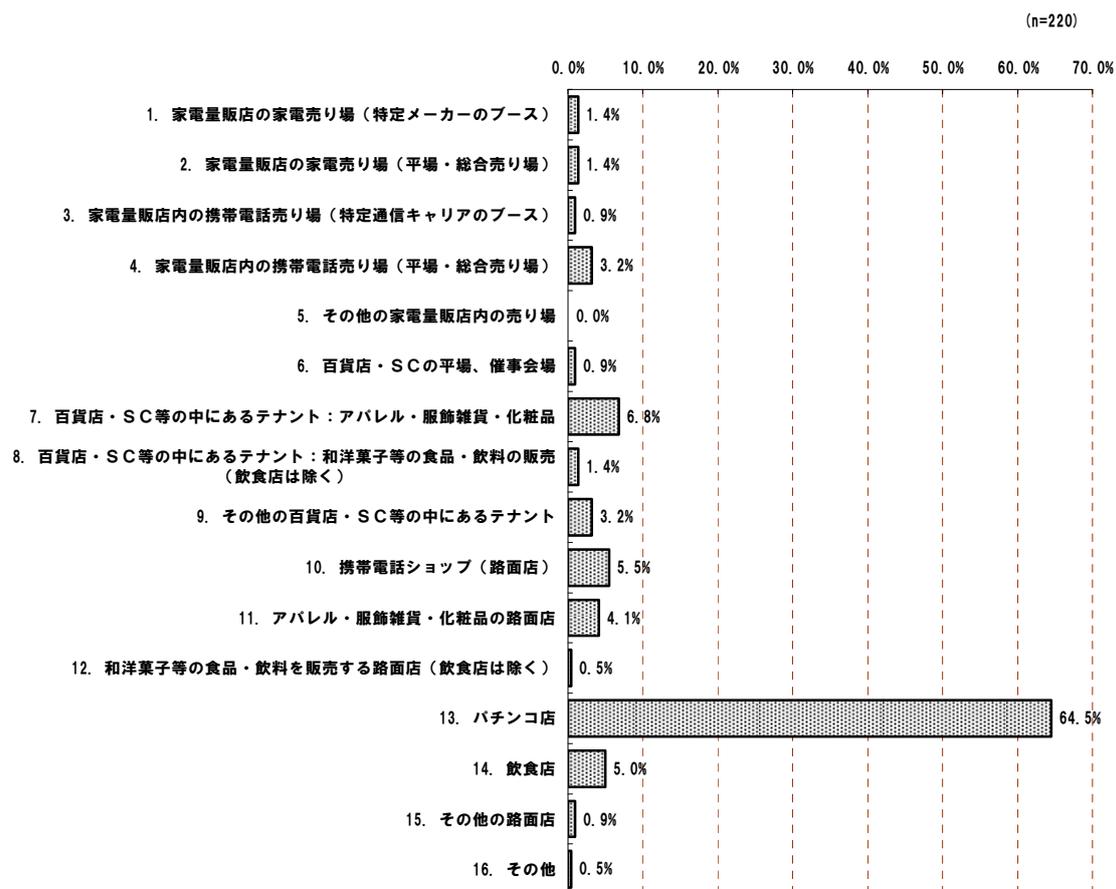


一 販売職派遣

(Q11～Q13は、販売職の派遣スタッフに聞いている。)

⑫Q11 販売職派遣の派遣先 (MA)

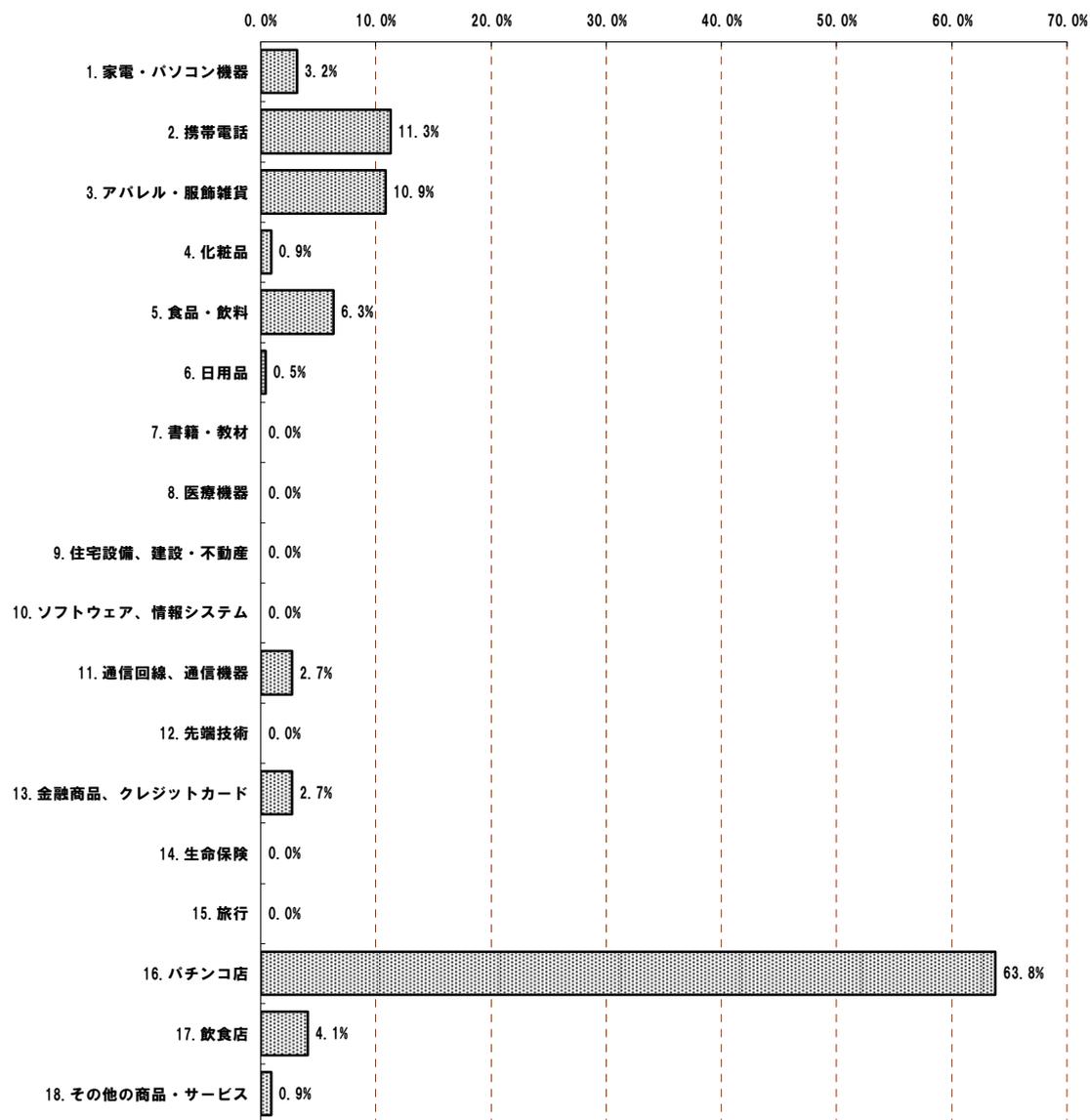
- 現在の販売職派遣の派遣先は、主にどのような組織か尋ねたところ、「パチンコ店 (64.5%)」が最も多くなっている。次いで「百貨店・SC等の中にあるテナント：アパレル・服飾雑貨・化粧品 (6.8%)」、「飲食店 (5.0%)」となっている。



⑬Q12 販売職派遣の商材 (MA)

- 販売職派遣で現在主に扱っている商品・サービスを尋ねたところ、「パチンコ店 (63.8%)」が最も多く、次いで「携帯電話 (11.3%)」、「アパレル・服飾雑貨 (10.9%)」、「食品・飲料 (6.3%)」となっている。

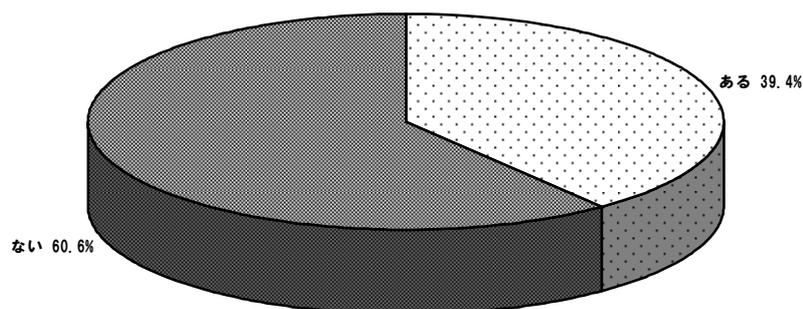
(n=221)



⑭Q13 他の商材の販売経験

- ・ 現在主に担当している商品・サービス（Q12で回答したもの）とは異なる商品・サービスの販売を担当した経験（他の会社や派遣会社で経験したものでも可）を尋ねたところ、「ない（60.6%）」が「ある（39.4%）」を上回っている。

(n=203)



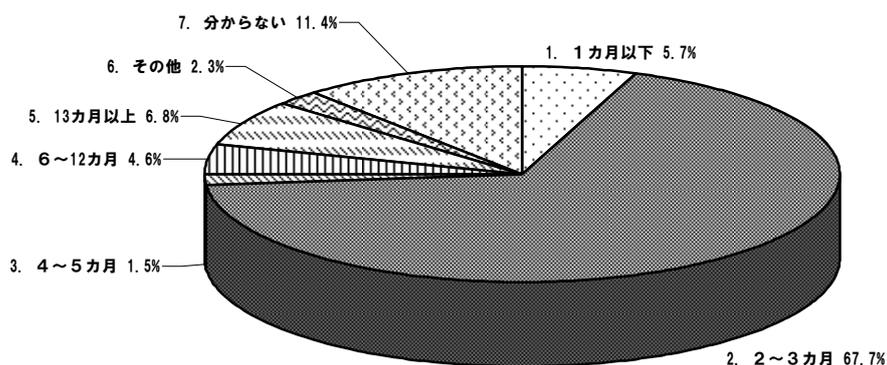
（3） 派遣契約、派遣のキャリア

以下の設問は、特に断りのないかぎり、Q5で回答した、現在の派遣先での業務（営業職または販売職のいずれか）について回答を求めた。

①Q14 派遣会社との契約期間

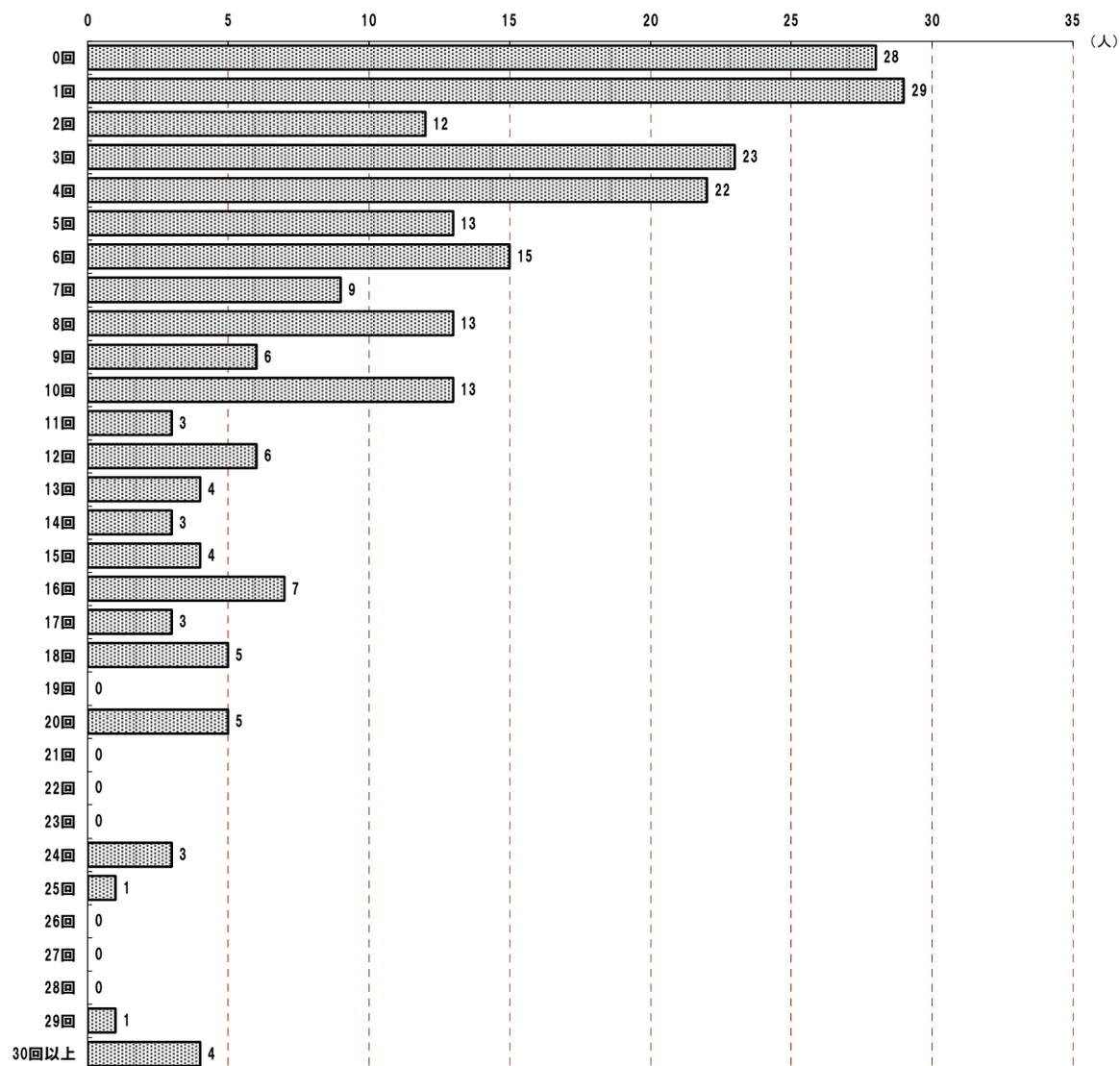
- ・ 現在の派遣先の仕事について、派遣会社との雇用契約の期間を尋ねたところ、「2～3カ月（67.7%）」が最も多く、次いで「13カ月以上（6.8%）」、「1カ月以下（5.7%）」となっている。また、「分からない」にも11.4%の回答がある。

(n=263)



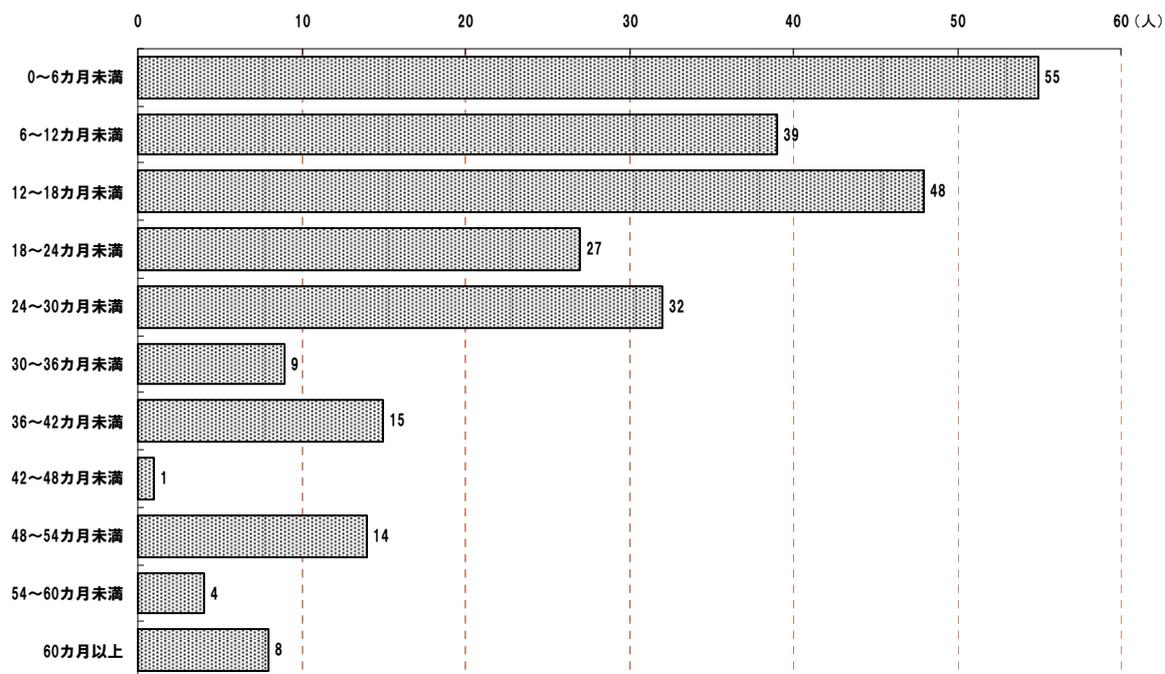
②Q15 雇用契約の更新回数

- 現在の派遣先の仕事に関して、派遣会社と雇用契約を何回更新したか尋ねたところ、平均 6.7 回、中央値 5 回となっている。ただし、頻度の最も多い回数は 1 回、次いで 0 回となっており、両者で全体の 20.7% を占める。



③Q16 現在の派遣先で現在と同一業務で派遣スタッフとして働いている通算期間

- 現在の派遣先で、現在と同一業務で派遣スタッフとして働いている通算期間を尋ねたところ、通算期間の分布は平均 19.2 カ月、中央値 14 カ月となっている。ただし、頻度の最も多い期間は 0～6 カ月であり、全体の 20.0% を占める。

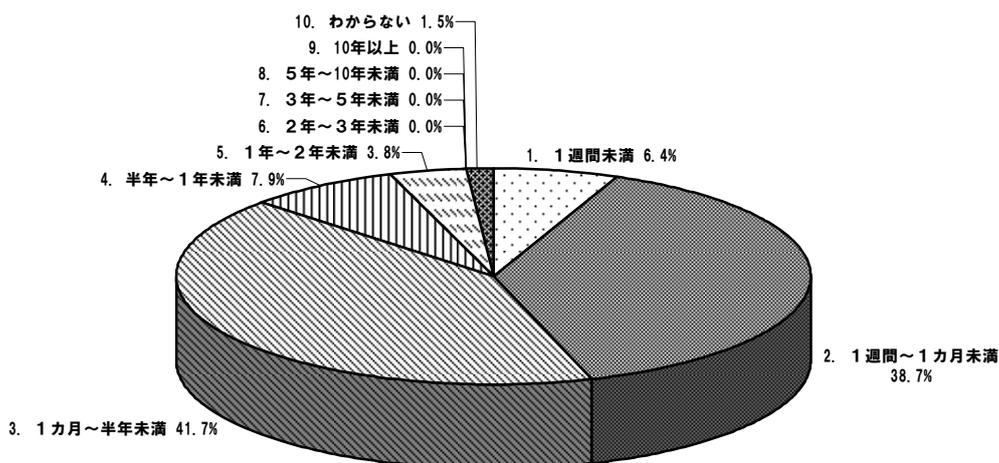


一仕事の難易度、スキルの獲得方法

④Q17 仕事の習熟に要する期間

- ・ 現在担当している仕事について、未経験者が一通り覚えるのに、どのくらいの時間がかかると思うか尋ねたところ、「1カ月～半年未満（41.7%）」が最も多く、次いで、「1週間～1カ月未満（38.7%）」となっている。

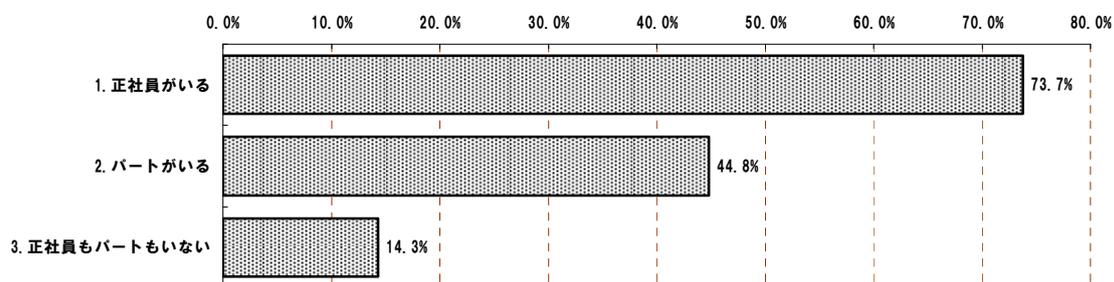
(n=266)



⑤Q18 仕事内容が同じ、またはほとんど同じ正社員・パートの有無 (MA)

- ・ 現在の派遣先の職場に、仕事内容が同じか、あるいはほとんど同じ正社員やパートがいるか尋ねたところ、73.7%が「(仕事内容が同じ) 正社員がいる」と回答し、また44.8%が「パートがいる」と回答している。正社員もパートもいないと回答した割合は14.3%となった。

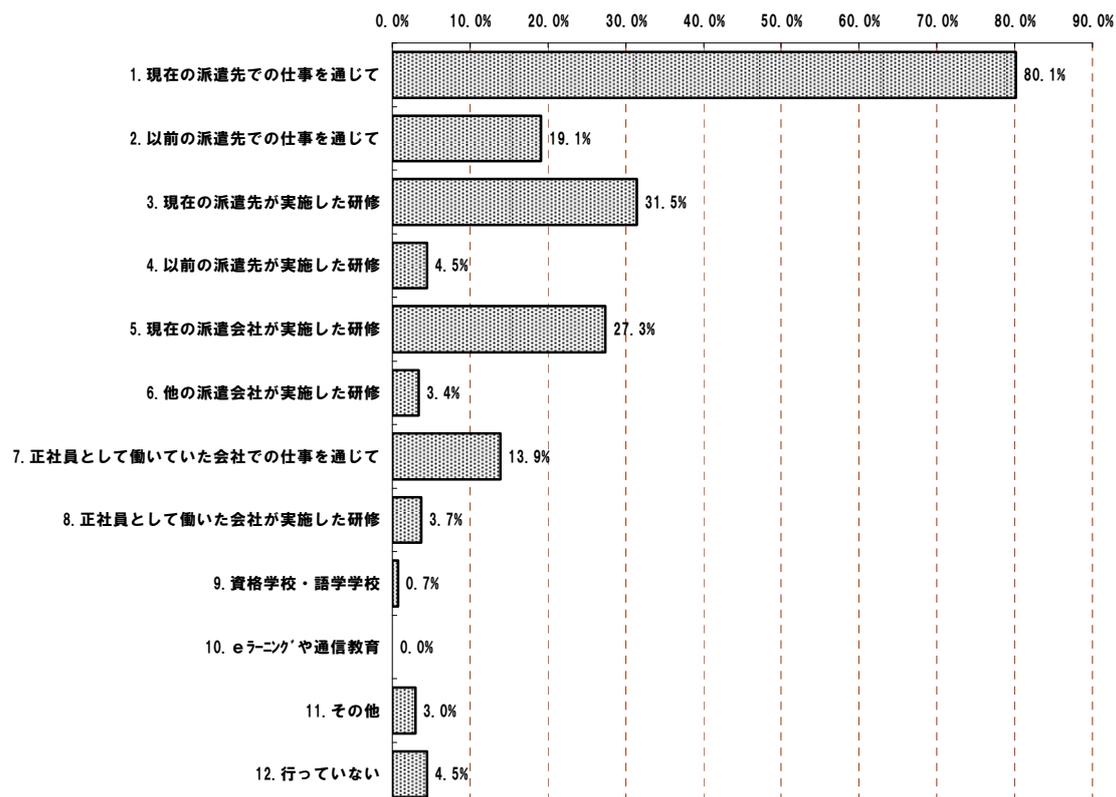
(n=259)



⑥Q19 スキルの獲得場所 (MA)

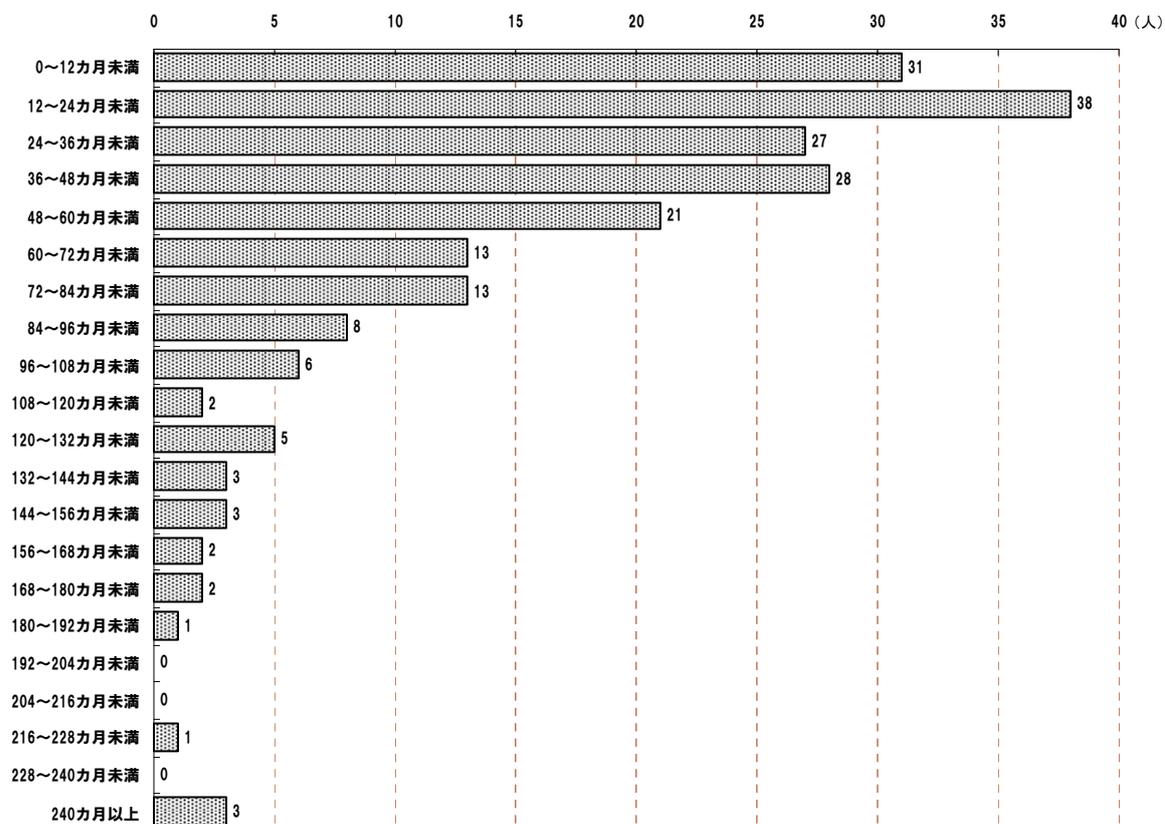
- ・ 現在の派遣先の仕事に必要なスキルをどのようにして身につけたか尋ねたところ、「現在の派遣先での仕事を通じて (80.1%)」が最も多くなっている。
- ・ 次いで「現在の派遣先が実施した研修 (31.5%)」、「現在の派遣会社が実施した研修 (27.3%)」となっている。

(n=267)



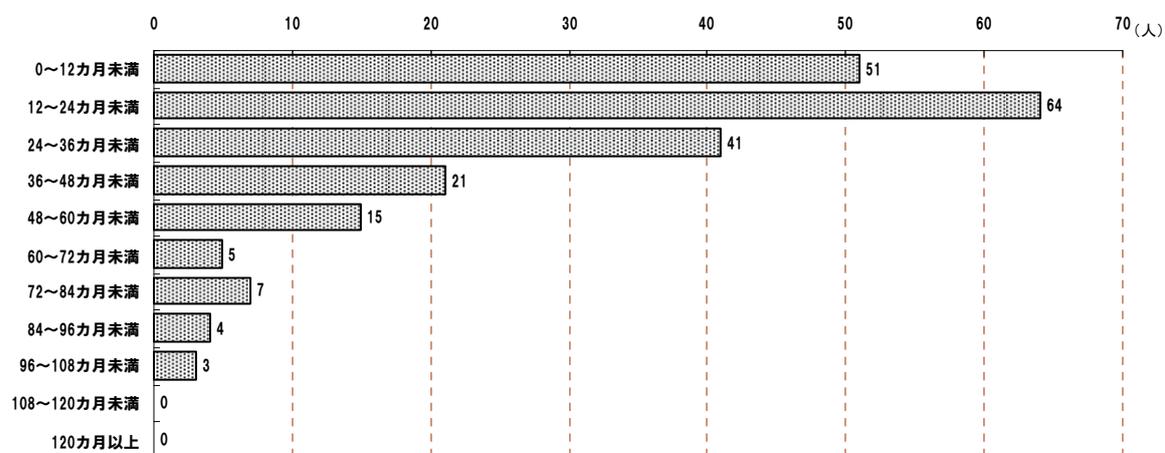
⑦Q20-1 営業または販売での仕事の経験期間

- 現在の仕事（営業職または販売職）について、何年の経験があるか尋ねたところ（雇用形態は問わない）、分布は平均 49.7 カ月、中央値 36 カ月となっている。



⑧Q20-2 派遣スタッフとしての営業または販売での仕事の経験期間

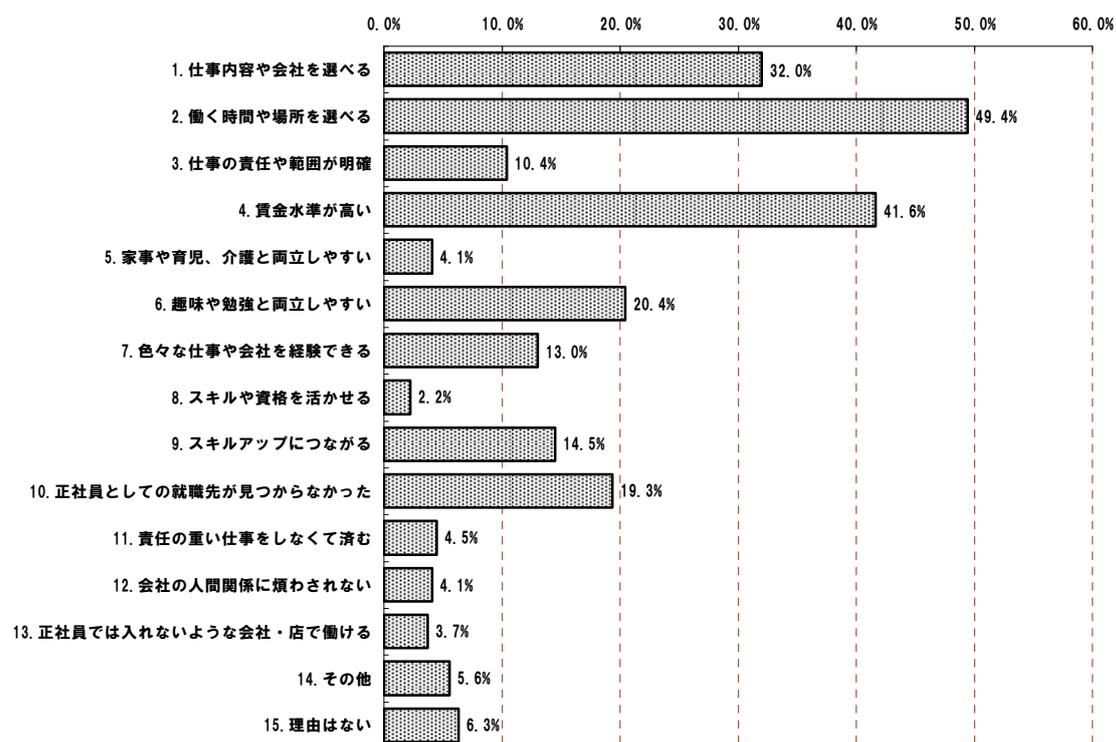
- また、上記のうち、派遣スタッフとしての仕事の経験を尋ねたところ、分布は平均 25.7 カ月、中央値 20 カ月となっている。



⑨Q21 派遣で働く理由 (MA)

- 派遣スタッフとして働くようになった理由を尋ねたところ、「働く時間や場所を選べるから (49.4%)」が最も多く、次いで「賃金水準が高いから (41.6%)」、「仕事内容や会社を選べるから (32.0%)」となっている。

(n=269)



(参考) 各種就業期間

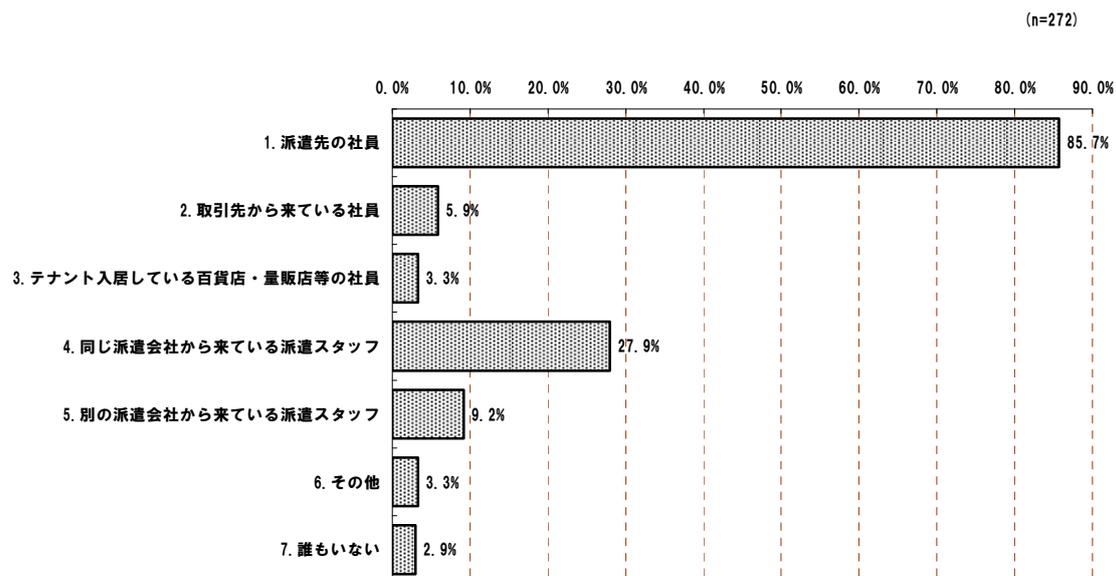
	平均	中央値	最頻値
正社員として働いた期間 (通算)	27.6 カ月	7 カ月	0～12 カ月
派遣として働いた期間 (通算)	30.1 カ月	24 カ月	12～24 カ月
うち現在の派遣会社で (通算)	22.7 カ月	18 カ月	12～24 カ月
現在の派遣先で現在と同一業務で派遣スタッフとして働いている期間 (通算)	19.2 カ月	14 カ月	0～6 カ月
営業または派遣での経験期間 (通算)	49.7 カ月	36 カ月	12～24 カ月
うち派遣スタッフとして (通算)	25.7 カ月	20 カ月	12～24 カ月

(4) 雇用管理の状況

－派遣先での雇用管理

①Q22 職場の指揮命令者 (MA)

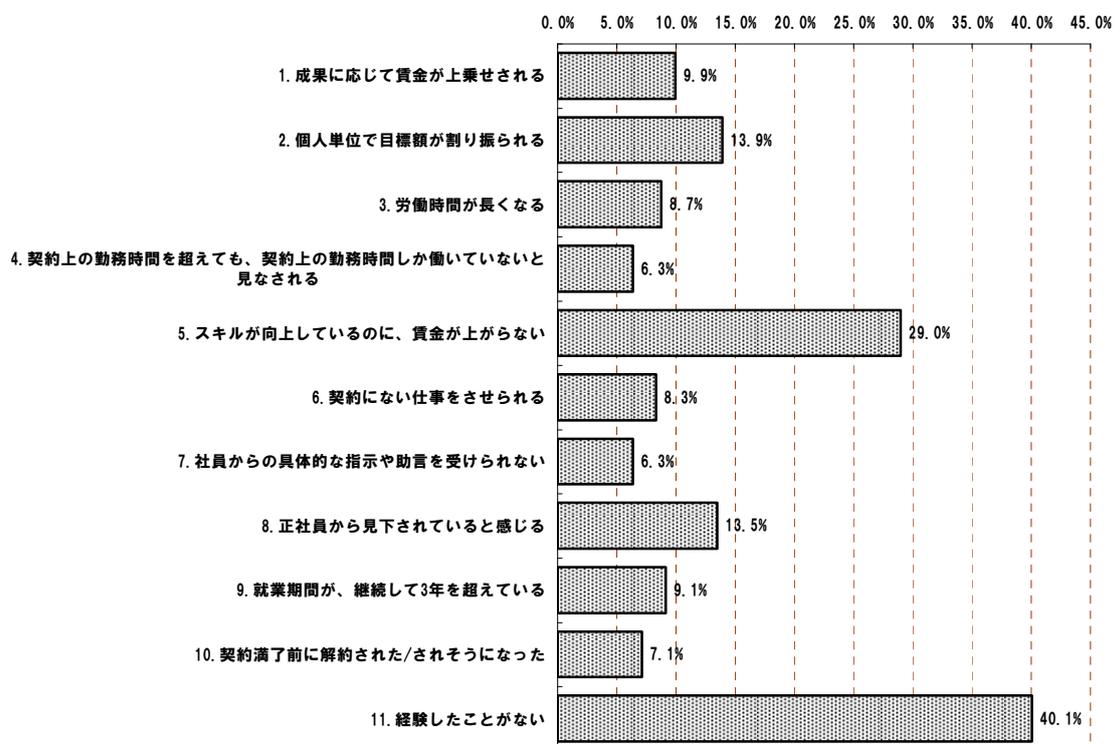
- ・ 日常の仕事の進め方などに関する指示を誰から受けているか尋ねたところ、「派遣先の社員(85.7%)」が最も多く、次いで「同じ派遣会社から来ている派遣スタッフ(27.9%)」、「別の派遣会社から来ている派遣スタッフ(9.2%)」となっている。



②Q23 派遣先での雇用管理の課題 (MA)

- ・ 雇用管理上の課題について、営業職または販売職の派遣スタッフとしてこれまで働いてきた中で経験したかどうか尋ねた。「いずれも経験したことがない」との回答は40.1%であり、59.9%が雇用管理上の課題と考えられる何らかの経験をしている。
- ・ 最も多く挙げられたのは「スキルが向上しているのに、賃金が上がらない(29.0%)」であり、次いで「個人単位で営業/販売目標額が割り振られる(13.9%)」、「派遣先の正社員から見下されていると感じる(13.5%)」となっている。

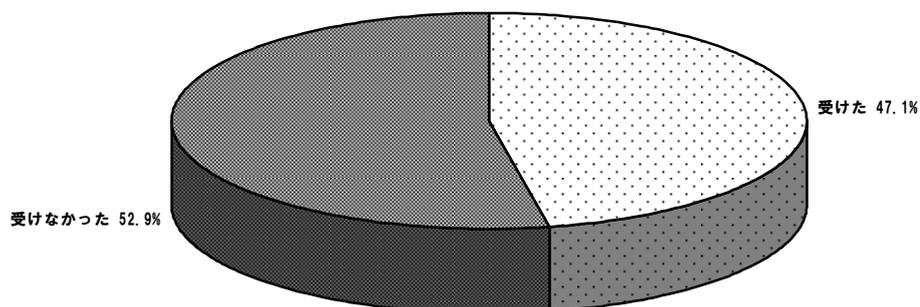
(n=252)



③ (契約満了前の解約を経験した場合の) 30日以上前の通告の有無

- 「派遣先の都合で、契約満了前に解約された/されそうになったことがある」とした人に、30日以上前に通告を受けたか尋ねたところ、「受けた」とする割合は47.1%であり、「受けなかった」が52.9%と過半数を占めている。

(n=17)

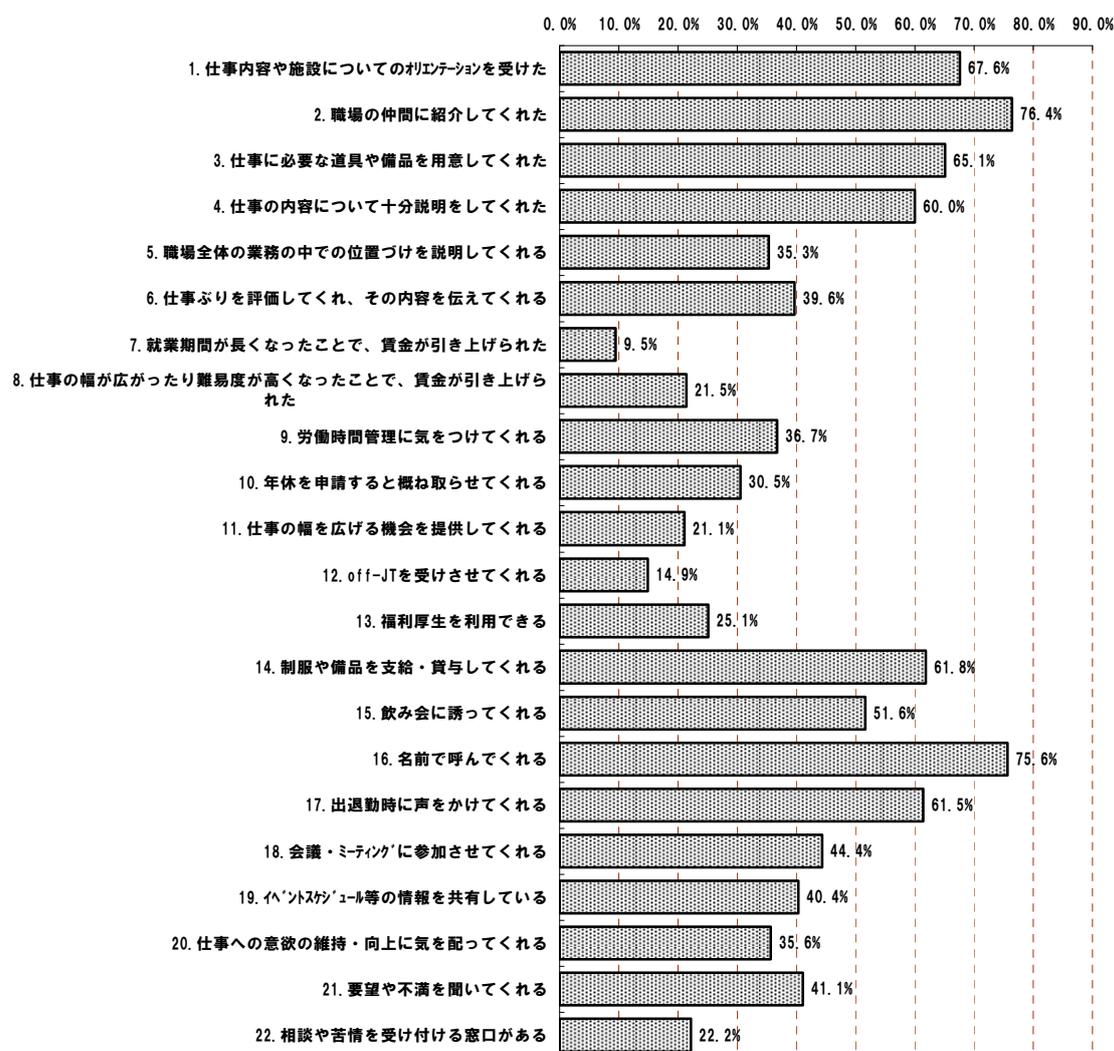


- ・ 営業職または販売職の派遣スタッフとしてこれまで働いてきた中で、59.9%の人が雇用管理上の課題と考えられる何らかの経験をしている。
- ・ 具体的には「スキルが向上しているのに、賃金が上がらない」「派遣先の正社員から見下されていると感じる」「個人単位で営業/販売目標額が割り振られる」等

④Q24 派遣先での雇用管理の工夫等

- ・ 「派遣初日に、職場の仲間に紹介してくれた (76.4%)」が最も多く、次いで「派遣さん」と呼ばずに、きちんと名前と呼んでくれる (75.6%)、「派遣初日に、仕事内容や施設についてのオリエンテーションを受けた (67.6%)」、「派遣初日に、仕事に必要な道具や備品を用意してくれていた (65.1%)」、「正社員と同様に、制服や備品を支給・貸与してくれる (61.8%)」等となっている。
- ・ 一方、「派遣就業の期間が長くなったことで、賃金が引き上げられた (9.5%)」、「Off-JT (日常業務を離れて行われる研修) を受けさせてくれる (14.9%)」、「仕事の幅を広げる機会を提供してくれる (21.1%)」等への回答は低い結果となった。
- ・ 派遣先において、職場環境や人間関係のマネジメント、派遣受け入れ時の対応は比較的に取り組まれているが、能力開発や賃金引き上げは取り組まれにくいことがうかがえる。

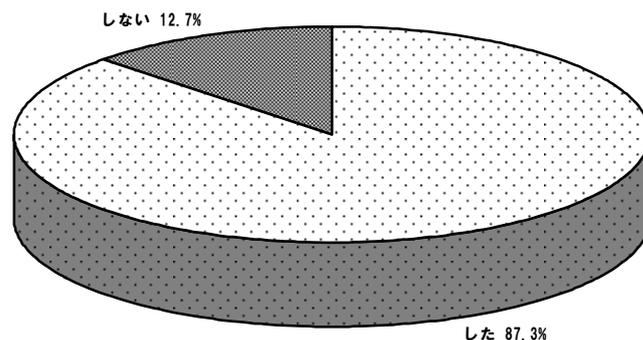
(n=275)



⑤Q24 (仕事の幅が広がったり難易度が高くなったことで賃金が引き上げられたと回答した場合の) 契約更新の有無

- ・ 「仕事の幅が広がったり、難易度が高くなったことで、賃金が引き上げられた」と回答した人について、契約更新の有無を尋ねたところ、「した (87.3%)」が大半を占めているが、「しない (12.7%)」も1割弱存在している。

(n=55)



－派遣先での雇用管理の工夫等

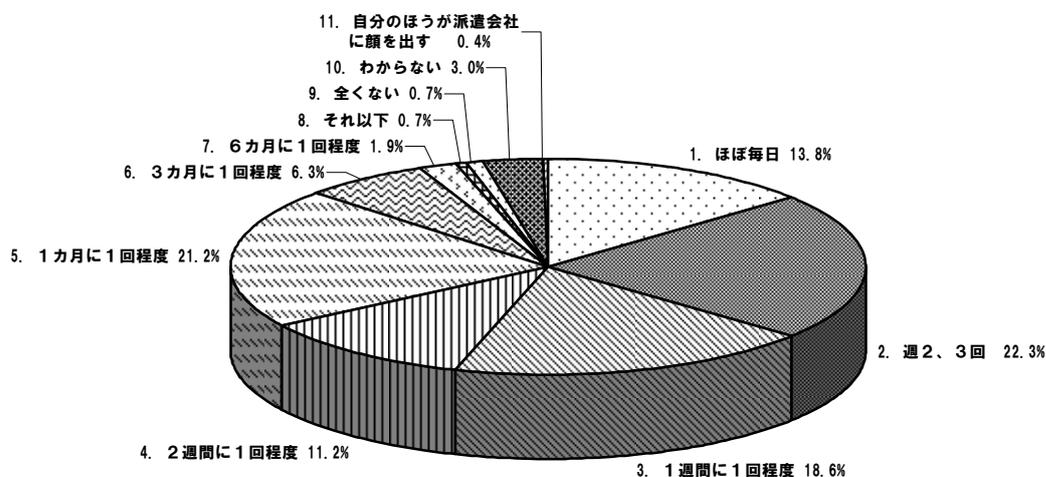
- ・ 職場環境や人間関係のマネジメント、派遣受け入れ時の対応は比較的取り組まれているが、能力開発や賃金引き上げは取り組まれにくい。

－派遣元での雇用管理

⑥Q25 派遣元の訪問頻度

- ・ 派遣会社の担当者の訪問頻度としては、「週2、3回 (22.3%)」が最も多く、「1カ月に1回程度 (21.2%)」、「1週間に1回程度 (18.6%)」、「ほぼ毎日 (13.8%)」が次ぐ。

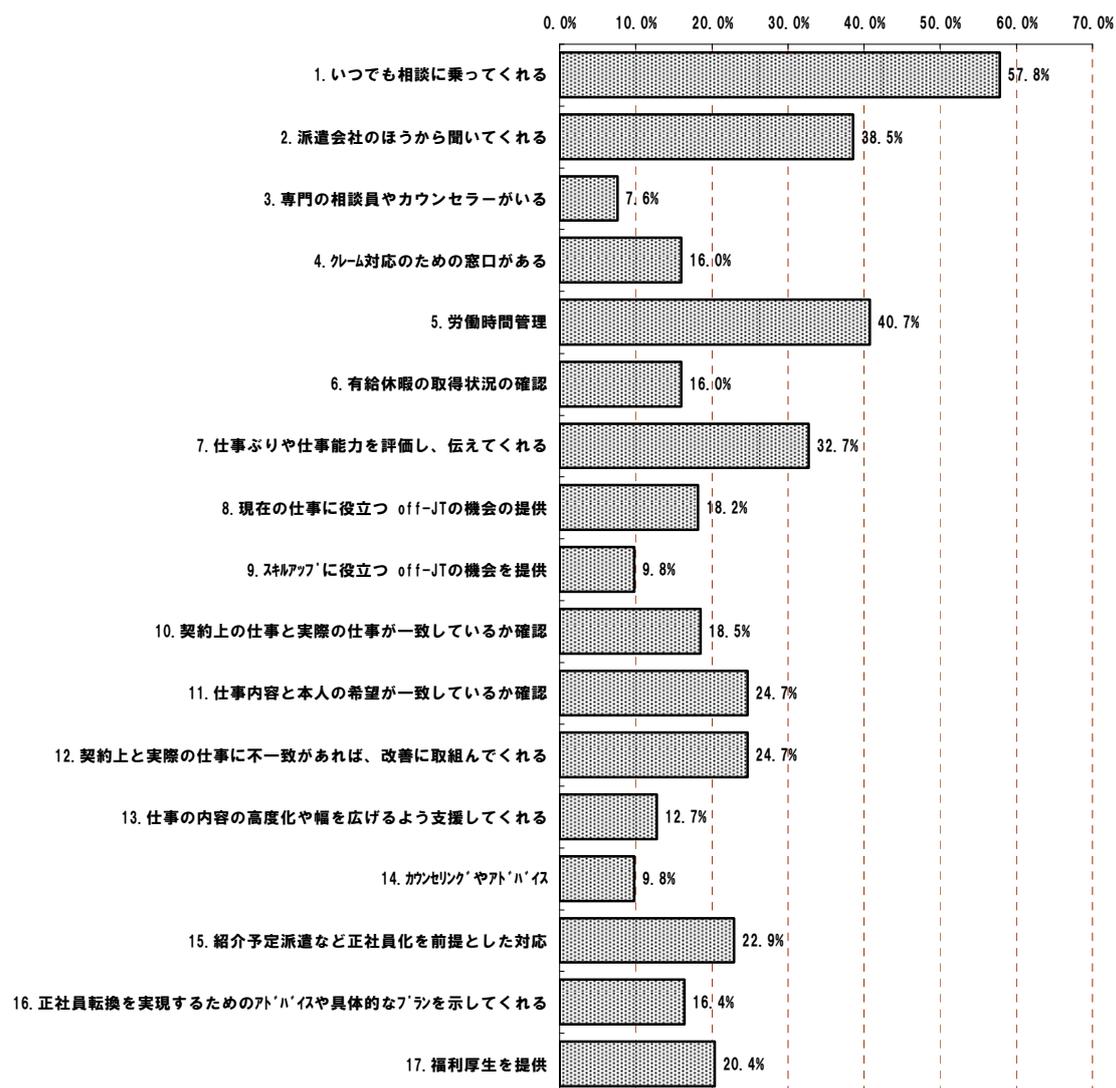
(n=269)



⑦Q26 派遣元での雇用管理の工夫等 (MA)

- ・ 「就労上の悩みや不安について、いつでも相談に乗ってくれる (57.8%)」が最も多く、次いで「残業を適正な範囲内に収めるように、労働時間管理に気をつけてくれる (40.7%)」、「就労上の悩みや不安について、派遣会社のほうから聞いてくれる (38.5%)」、「仕事ぶりや仕事能力を評価し、伝えてくれる (32.7%)」となっている。

(n=275)



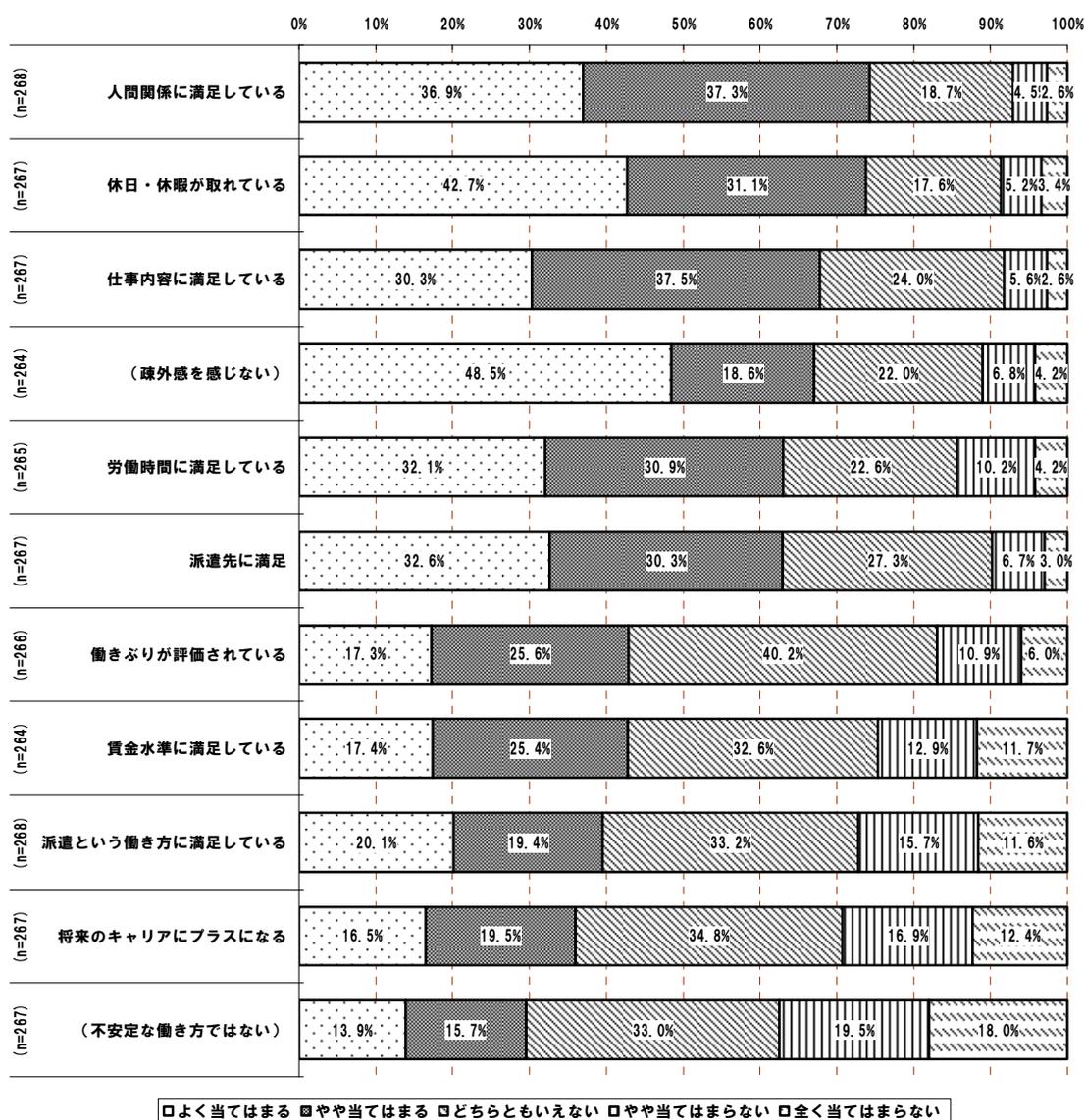
－派遣元での雇用管理の工夫等

- ・ 「いつでも相談にのる」「派遣会社のほうから聞く」などの相談・フォロー、「労働時間管理」に注力。「仕事ぶりや能力を評価し伝える」も比較的实施率が高い。
- ・ 一方、「カウンセリング・アドバイス」「Off-JT 機会提供」は実施率が低い。

(5) 雇用管理にかかる満足・不満足

①Q27 満足・不満足

- ・ 現在の派遣先での仕事について、満足・不満足を5段階で尋ねた。
- ・ 「よく当てはまる」と「やや当てはまる」の合計に注目すると、「現在の職場での人間関係に満足している」、「取りたいと思ったときに休日・休暇が取れている」、「派遣スタッフということで疎外感を感じない」¹等への回答割合が高い。
- ・ 逆に、「全く当てはまらない」と「やや当てはまらない」の合計に注目すると、「不安定な働き方ではない」、「将来のキャリアにプラスになる」、「派遣という働き方に満足している」等への回答割合が高くなっている。

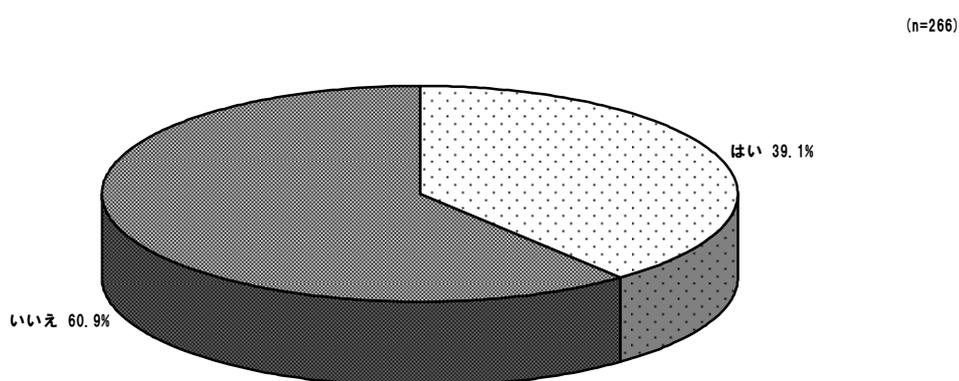


¹ 元の設問は「派遣スタッフということで疎外感を感じる」だが、比較のため逆転させている。

(6) 派遣受け入れ期間制限について

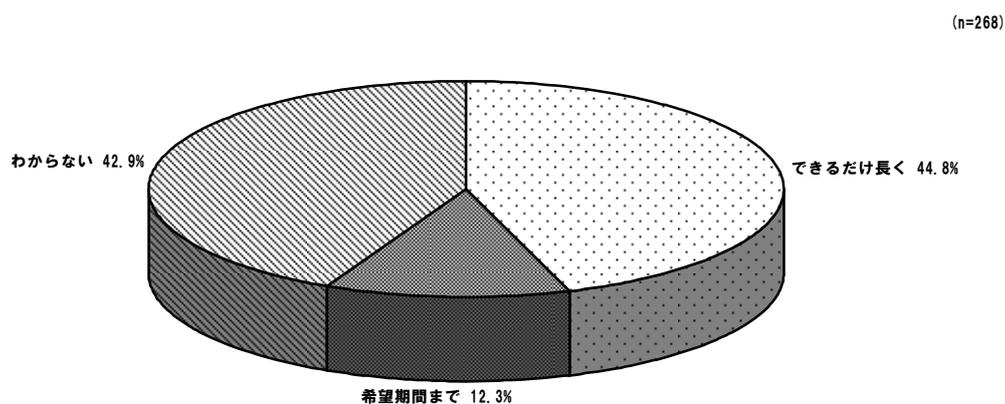
①Q28 派遣の受け入れ期間の上限（最長3年）の認知度

- 「営業職派遣や販売職派遣は、派遣先において、派遣の受け入れ期間に上限（最長3年）があることや、受け入れ期間の上限は派遣スタッフ単位ではなく、職場単位であること（派遣スタッフを入れ替えても、通算した期間に上限あり）」を知っていたか尋ねた。「はい（知っている）」は39.1%、「いいえ（知らない）」は60.9%となっており、知らない者の割合が高い。



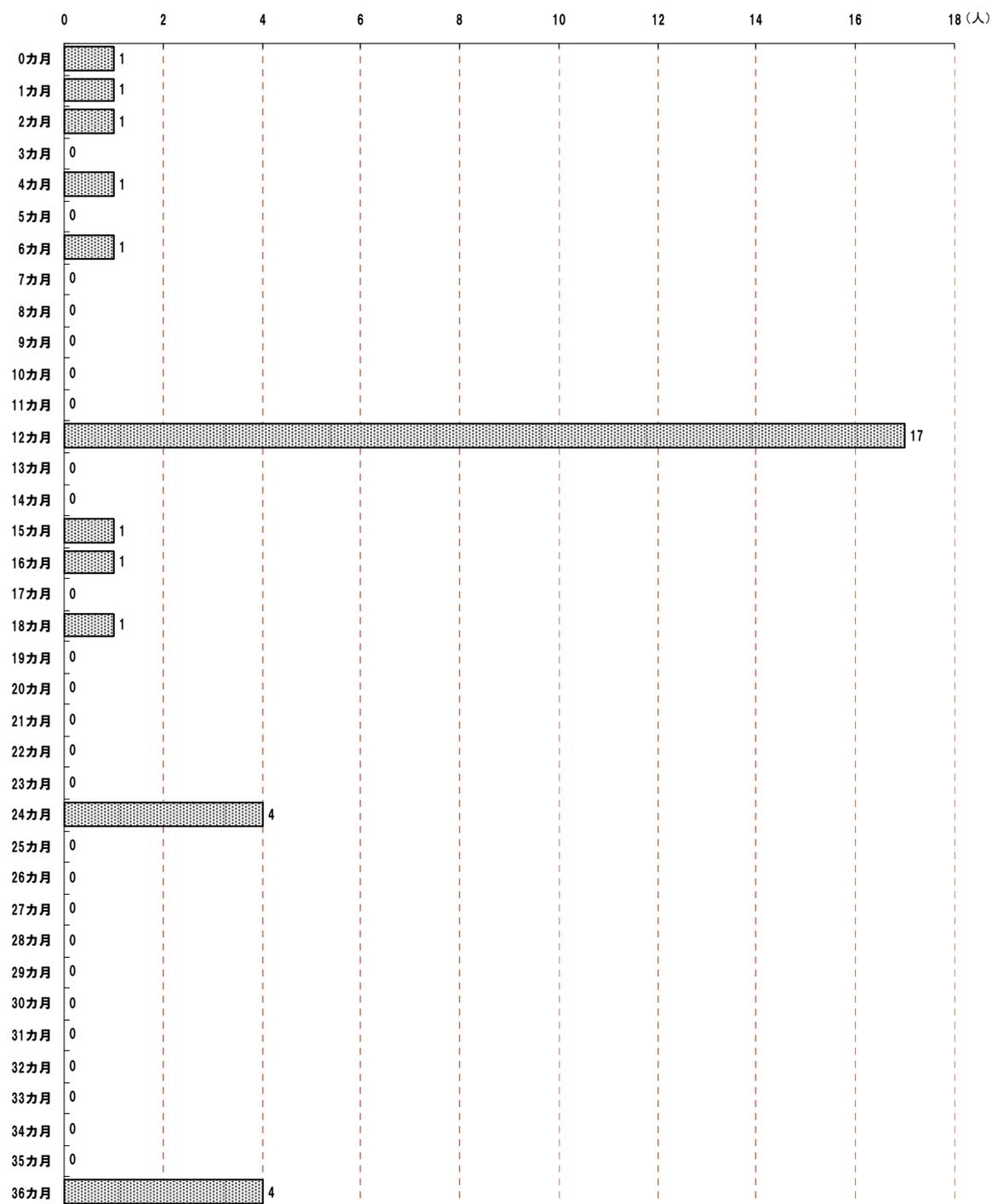
②Q29 受け入れ期間制限

- 「受け入れ期間制限を考えなければ、現在の派遣先で、今と同一業務で、今後、どれだけ長く働きつづけたいか」尋ねたところ、「できるだけ長く（44.8%）」が最も多く、次いで「わからない（42.9%）」となっている。具体的な希望期間を挙げた者は12.3%であった。



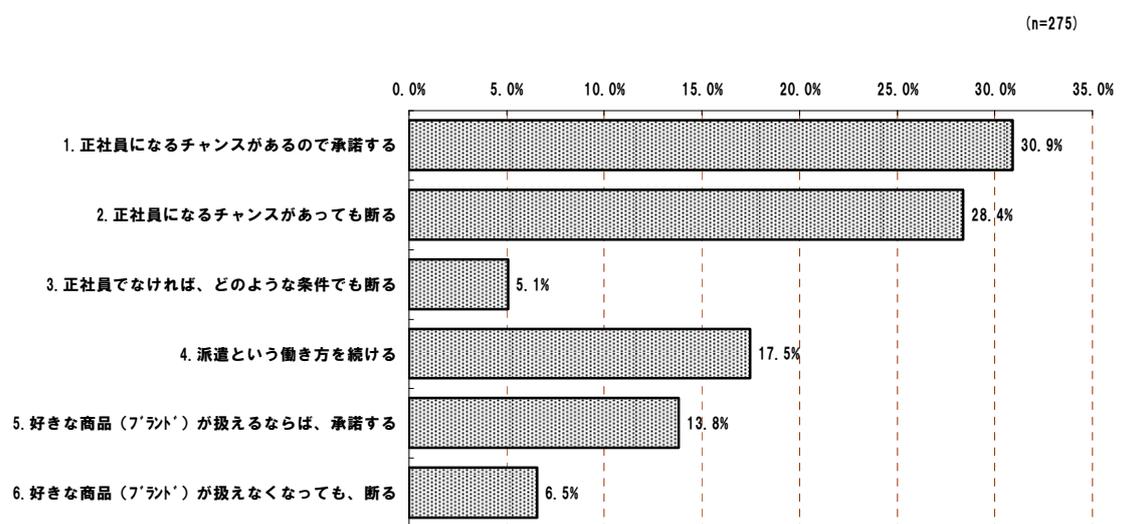
③希望期間の分布

- 具体的な希望期間を挙げた者について、希望期間の分布は、平均 15.3 カ月、中央値 12 カ月となっている。頻度についても 12 カ月が最も大きく、全体の 51.5%が 12 カ月と回答している。



④Q30 契約社員として採用 (MA)

- 現在の派遣先から、「派遣受け入れ期間の上限が来たので、これ以上派遣スタッフとして来てもらうことはできないが、契約社員として採用したい。派遣に比べると当面の手取り賃金は下がるが、将来的には正社員登用の可能性もある」と言われたらどうするか、正社員雇用の可能性と、手取りのトレードオフについて尋ねた。
- 最も多いのは、「当面の手取り賃金が下がっても、正社員になるチャンスがあるので承諾する (30.9%)」であり、次いで「当面の手取り賃金が下がるならば、正社員になるチャンスがあっても断る (別の派遣先を探してもらう) (28.4%)」となっている。
- また、「派遣という働き方を続けたいので、どのような条件でも断る (別の派遣先を探してもらう)」にも 17.5%の回答があった。



1. 当面の手取り賃金が下がっても、正社員になるチャンスがあるので承諾する
2. 当面の手取り賃金が下がるならば、正社員になるチャンスがあっても断る (別の派遣先を探してもらう)
3. 正社員でなければ、どのような条件でも断る (別の派遣先を探してもらう)
4. 派遣という働き方を続けたいので、どのような条件でも断る (別の派遣先を探してもらう)
5. 好きな商品(ブランド)が扱えるならば、当面の手取り賃金が下がっても、承諾する
6. 当面の手取り賃金が下がるならば、好きな商品(ブランド)が扱えなくなっても、断る (別の派遣先を探してもらう)

(7) 働く上で重視すること

①Q31 働く上で、重視すること (1~5位) : 合計

- 1位の割合に注目すると「賃金 (少しでも高いこと) (44.2%)」が突出して高くなっている。
- 1位から5位までの合計に注目すると、「働く場所 (96.1%)」、「賃金 (少しでも高いこと) (92.7%)」、「雇用の安定性 (なるべく長く同じ職場で勤め続けられること) (73.9%)」、「労働時間 (自由になること、残業がないこと) (72.2%)」等の割合が高い。
- 逆に「扱う商品・サービスのメーカー、ブランド (18.0%)」、「営業職、販売職という職種 (29.2%)」等への回答割合は低くなっている。

